

早稲田 E W E 58 電気工学会会報



2017-Mar.

<http://www.ewe.or.jp/>

2017年度通常総会開催通知

早稲田電気工学会

会長 花澤 隆

拝啓、時下益々ご清栄の段お慶び申し上げます。

さて、標記通常総会を下記の通り開催致しますので、万障お繰り合わせの上、会員お誘い合わせてご出席いただき、EWEの運営・活動などについてご意見を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2017年5月19日(金) 18時～19時
2. 場 所 早大西早稲田キャンパス55号館1階 第2会議室
3. 議 題 (1) 2016年度事業経過報告および決算
(2) 2017年度事業計画および予算
(3) その他
4. 懇親会 早大西早稲田キャンパス55号館1階 第1会議室
5. 懇親会会費 3,000円

出席される方は、事務局までご連絡ください。

以上

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1

早稲田大学西早稲田キャンパス内

早稲田電気工学会 事務局

電話/FAX：03-3232-9768（直通）

E-mail：jimukyoku@ewe.or.jp

URL：http://www.ewe.or.jp/

もくじ

○巻頭言「EWEの新たな役割」	3
EWE会長 花澤 隆	
○退任に際して「折れ曲がり点・バタフライ効果・豆電球」	5
情報理工学科/情報理工・情報通信専攻 教授 松山 泰男	
○ニュース「IEEE Computer Society 2018年会長選出にあたって」	8
情報理工学科/情報理工・情報通信専攻 教授 笠原 博徳	
「2016年度早稲田大学ティーチングアワード総長賞、	
リサーチアワードをEWEから多数受賞」	12
電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 准教授 柳谷 隆彦	
○教員の横顔「電気・情報生命工学科」	14
○若手OBの活躍「研究者としての第一歩」	19
静岡大学 電子工学研究所 講師 堀 匡寛	
○修士課程修了にあたって	21
電気・情報生命専攻 堀内 秀祐 (渡邊研究室)	
情報理工・情報通信専攻 川口竜太郎 (菅原研究室)	
電子物理システム学専攻 小林 直史 (庄子研究室)	
○地方本部だより	24
東海地方本部/中国地方本部/東北地方本部/関西地方本部	
九州地方本部/北海道地方本部	
○クラス会だより	31
電気通信学科1962(昭37)年卒、電気通信学科1947(昭22)年卒	
電気工学科1953(昭28)年卒、電気工学科1962(昭37)年卒	
電気通信学科1966(昭41)年卒、電気通信学科1951(昭26)年卒	
電気科1959(昭34)年卒	
○学生支援基金報告	
「ETロボコン2016活動報告とご協力へのお礼」	38
○先輩訪問「日本電気(NEC)」	39
○EWE活性化委員会2016年度活動報告	41
○見学会報告「スカパーJ SAT横浜衛星管制センター」	42
○EWE三月会2016年度活動報告	43
○学生会報告「研究室対抗ソフトボール大会」	45
○2016年度修士論文一覧	46
○2016年度学部卒業生一覧	57
○2016年度博士号取得者一覧	62
○受賞・褒章	63
○2016年度就職状況	68
電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻教授 村田 昇、小林 正和、牧本 俊樹	
情報理工学科/情報理工・情報通信専攻教授 鷲崎 弘宜、高畑 文雄、田中 良明	
電子物理システム学科/電子物理システム学専攻教授 柳澤 政生	
○2016年度就職先一覧	74
○2016年度評議員委嘱状況	77
○2016年度終身会費納入者、寄付者一覧	80
○逝去者一覧	81
○編集後記	83

巻頭言

EWEの新たな役割

早稲田電気工学会会長 花澤 隆



会社も売り上げが伸びない時期は、コストコントロールが先行しがちで社員の士気が上がらない。こんな時は新しいビジネスを始めようと必死に考え、トライするがなかなか大きなビジネスが生まれない。他社に負けない技術を持っていれば、なおのこと悩みが大きい。

日本の国はどうかとその経済を見ると、もう20年も停滞し国民の間にはなんとなく閉塞感がただよっている。こんな時は国レベルでもやはり、新産業創出、イノベーションが大切ということで、内閣府の日本再興戦略2016を眺めると、「イノベーションの社会実装」などという言葉があり、潜在需要を開花させる新たな製品・サービスを創出するとしている。

イノベーションという言葉は色々なニュアンスで使われているが、電子通信学科卒業のEWE会員で米国シリコンバレーにてご活躍の黒田豊さんの著書*を拝読すると、技術革新を「技術イノベーション」、また、技術がユーザーに価値を提供する仕組みを作ること、すなわちビジネスとして成功させることを「ビジネス・イノベーション」と区別して呼んでいてわかりやすい。黒田さんの言葉を借りれば、日本は技術に優れていて人材も優秀だが、ビジネス・イノベーションを起こす仕組み、意識、文化に欠陥があるということだ。

黒田さんはビジネス・イノベーションに関して、日本における問題点を幅広く指摘されている。その中でもEWE会長の立場で注目したのは、シリコンバレーの人々は「いろいろなところでつながっており、その人的ネットワークを通じて情報交換、アイデア創出のための議論」を行っているが日本では必ずしもそうになっていないという点だ。シリコンバレーでは、「ひとつの会社や組織に閉じこもっておらず、常にいろいろな機会に会社横断的につながりを持ち、情報を共有したり、アイデアを出し合ったりして、刺激しあっている」ということだ。

自分自身を振り返ってみると、そもそも学生時代の人的ネットワークは、同学

科、同学年に限られ、親しく議論する人は数名。研究室に入っても、同じ研究室の同期および前後2年くらいの先輩後輩との付き合いが精いっぱいであったように思う。会社に入ってからでも相当長い期間、お付き合いする社外の方は受発注契約に基づく関係に限られていたように思う。今思えば全く努力不足であった。

ここからは勝手な推論だが、シリコンバレーで広く人的ネットワークが形成できるのは、もちろん教育や国民性のようなものが大きな要素になっていると思うが、大学が大きな役割を果たしているのではないだろうかと考える。例えば寮生活を通じて、年令や専門を問わない友人、知人が社会に出る前にできている。あるいは卒業生の集まりが大切にされているなどだ。卒業してしまえば大学とは関係がないということではなく、大学を人脈づくりの切っ掛けとして貪欲に使う考え方があってはならないだろうか。大学時代の友人同士で作ったベンチャも沢山ある。

話は変わるが、EWEの活動に積極的に参加していただける会員を見ると、学生と50歳以上の比較的年令の高い皆さんだ。残念ながら大学を卒業してから20年、30年までの会員の皆さんには総会や講演会にご出席して頂けない。卒業後10年くらいはまず会社の仕事に慣れるのが最優先で、EWEどころではないということもあるだろう。卒業して30年くらいまでは会社の中堅として忙しいのかもしれない。

しかし日本でもビジネス・イノベーションが大切な時代になっている。会社で働く人も、ベンチャビジネスを起こす人も、シリコンバレーと同じように人的ネットワーク構築はきわめて重要な課題であるはずだ。新しい技術、新しいビジネスモデル、マーケットの動向、行政の動向などの情報収集や、協業やマーケットへのアプローチの手がかりづくりなど、異業種、異分野の人々と接点を持つ機会は大変貴重なものだ。

こうした視点から、EWEも会員の人的ネットワーク構築支援を行ってはどうかと考えるに至り、2016年度にはEWEホームカミングデーなるものを開催した。初年度は試行的に卒業後10年の人々にのみ声をかけた。残念ながら思ったほど参加者は集まらなかったが、是非とも来年度以降も発展的に継続していきたいと考えている。その他、人的ネットワーク構築支援という観点から、会員の皆さんから新しい活動の提案も期待している。EWE会員がEWEのイベントを通して共に集い、新たなビジネスを作り出し、結果としてEWEの活動が活発になればこんなに嬉しいことはない。

* 「シリコンバレーのコンサルタントから学ぶ、成功するイノベーション」黒田豊著 2014年
幻冬舎など

退任に際して

折れ曲がり点・バタフライ効果・豆電球

情報理工学科／情報理工・情報通信専攻 教授 松山 泰男



いろいろな分野で名を成した人の伝記をひも解いてみると、ここは折れ曲がり点だなという部分が見つかる。すなわち、転換点といえる部分である。人によっては全く不連続になったりしている。形態は様々であるが、その発端は全くの遠因といえるほど離れた点にあることが多い。いわば、バタフライ効果とでもいえる現象である。そしてもう一つ、その人の思考回路に突然チカチカと豆電球が点いたということもある。折れ曲がり点があるということは良い意味での君子豹変であり、EWEの皆さんも来し

方を振り返ってみて、あれはバタフライ効果や豆電球の点灯だったと確認できることがあると思います。では、私自身の場合はどうだったのでしょうか。

最初の転換点は大学入試ではなくて、入学後の学部一年生の時でした。高校まで漫然とした日々を送っていたところ、ドイツ語で量子力学の原本を読んでいる者、やたらとイデオロギーを振り回す者と、いろいろな連中に出くわして、突然目の前が開けたような感がありました。その年度の後半にはキャンパスのロックアウトや機動隊の導入など様々なこともありましたが、以後まじめに勉学に励むことになりました。当時、仲間が催涙ガスを浴びて目を開けられない中を平気で歩いていると「お前、なぜだ」と問われ、コンタクトレンズの恩恵を受けたことを今でも覚えています。「まじめに勉学」と書きましたが、一直線ではありませんでした。当時、ビアガーデンでの飲み放題というのがあり、二日酔いを通り越して三日酔いになり、集めた卒研資料を帰宅途中に紛失して先輩にどやされたこともありました。今でもその先輩にお会いすると、身が引き締まる思いがします。

大学院からは本当にそれらしい日々を送りました。その頃、興味の方向という

ものが生じていました。そしてある時、何度眺めていても飽きない分野に出会いました。それは脳神経系の信号理論です。われわれの脳はパルス信号の連鎖により活動していて、そこに思いのほかのランダム性とその逆の周波数変調が存在するというものです。本学での博士論文はこの分野についてのものでした。そして、バタフライ効果と言える現象は、この論文をまとめている最中に起こりました。

当時、米国東部の名門校を終えた先輩が本学に着任され、我々にとってこの上なくまぶしい存在でした。そこで、博士論文に取りかかる前に、日本学術振興会とフルブライト委員会による日米人物交流プログラムに応募してみました。その後、学術振興会のビルがもらい火を受け、全員の応募書類が水浸しになってこの年は中止かということになりましたが、非常に遅れての合格発表となりました。そのため、図らずも本学の博士課程を修了できることになりました。

渡米後はスタンフォード大学で院生活を送ることになりました。これは、変に狙ったわけではなく、例のもらい火に起因していたわけです。研究分野は情報圧縮理論になりました。これはその後、本学で行っておいた神経系の情報処理理論とも相まって、今でいう機械学習理論に発展させられることになりました。

スタンフォードでは、天才は本当に存在するのだということを、教員や同僚を見て実感させられました。それらの人々は、見たことがすぐ頭に入ってその中で豆電球がいくつも点き、全く方向の異なる強い光を発することができる人たちでした。教をいただいた方々の中には、ノーベル賞、チューリング賞、フィールズ賞、IEEE最高賞の受賞者が合計で7人もいました。これは良いことばかりではなくて、むしろ、時には心の負担になっています。スタンフォードで博士号を得た後、同期のほとんどは米国の大学に就職しましたが、私は帰国しました。これも、在米の学者からある日突然いただいた思わぬ助言によるものでした。

帰国後は北関東の大学に奉職して長く時を過ごしましたが、振幅の小さな日々でした。そのあるとき、学会誌を見ていて、本学の電気工学科が教員を公募していることを知り、ダメモトの応募をしたところ引かかりました。今でも、「ラス牌」だったのだろうかと、俗な表現ながらそう思っています。

本学に着任後かなりの間は、集中して物事を考えることができました。その結果、本学での学位分野であった「神経系の確率的情報処理」とスタンフォードでの「情報圧縮およびクラスタリング」の融合が機械学習への貢献であるとみなさ

れ、大隈記念学術褒賞を授けられることになりました。しかしながら、さらなる道も見えてきています。すなわち、IoCT (Internet of Collaborative Things) への展開です。これは、さらに大きなうねりになると予感しています。そして、こういうことを言えるのも、優れた学生さんたちと時を過ごせたことによるものであり、深く感謝している次第です。

ニュース

IEEE Computer Society 2018年会長選出にあたって

情報理工学科／情報理工・情報通信専攻 教授 笠原 博徳



EWE会員の皆様・事務局のご支援によりまして、
図1のIEEE Computer Societyリリースのように2016年9月29日に2017年President Elect、2018年Presidentに選出されることができました。改めまして、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

また、この選挙にあたりましては、EWEへのご推薦のお言葉を戴きました白井克彦前総長と前EWE副会長木村啓二 情報理工学科教授、またIEEE Computer Society日本会員の皆様の投票率アップにご尽力戴きました2017年IEEE Computer

Society Japan Chair鷺崎弘宜 情報理工学科教授に大変お世話になり、この紙面をお借り致しまして心より感謝申し上げます。

IEEE  computer society

Store Join Log in Help Contact 

2016 IEEE Computer Society Election Results

Press Release | Ballot counts

Posted 29 September 2016

Hironori Kasahara selected 2017 President-Elect (2018 President)



Hironori Kasahara has served as a chair or member of 225 society and government committees, including a member of the CS Board of Governors, chair of CS Multicore STC and CS Japan chapter, associate editor of IEEE Transactions on Computers; vice PC chair of the 1996 EMAC 50th Anniversary International Conference on Supercomputing, general chair of LCPC, PC member of SC, PACT, PPOPP, and ASPLOS, board member of IEEE Tokyo section, and member of the Earth Simulator committee.

He received a PhD in 1985 from Waseda University, Tokyo, joined its faculty in 1986, and has been a professor of computer science since 1997 and a director of the Advanced Multicore Research Institute since 2004. He was a visiting scholar at University of California, Berkeley, and the University of Illinois at Urbana-Champaign's Center for Supercomputing R&D.

Kasahara received the CS Golden Core Member Award, IFAC World Congress Young Author Prize, IPSJ Fellow and Sakai Special Research Award, and the Japanese Minister's Science and Technology Prize. He led Japanese national projects on parallelizing compilers and embedded multicores, and has presented 210 papers, 132 invited talks, and 27 patents. His research has appeared in 520 newspaper and Web articles.

図1 IEEE Computer Societyよりの2016年選挙の結果

IEEE (アイ・トリプル・イー: the Institute of Electrical and Electronics Engineers) Computer Societyは、世界160カ国からの会員42万人強から構成される世界最大の学術組織であるIEEE中の最大のソサエティで、6万人強の会員を持つ、コンピュータ技術関連の研究開発・教育・標準化等を推進する当該分野世界最高峰の学会です。IEEEには、電力、電気機器、通信、回路とシステム、半導体、ロボット、制御、医療、宇宙、交通等の分野をカバーする39のソサエティがあり、EWE会員の皆様も多くのソサエティ会員として活躍されています。また、Computer Societyを含めIEEEは標準化にも重要な役割を果たしており、ネットワーク規格として有名なIEEE 802や、浮動小数点データの規格IEEE 754等、学部講義でもよく登場する規格の策定も行っています。

IEEEでは、世界を10リージョンに分けて活動を行っており、リージョン1から6が米国、リージョン7がカナダ、リージョン8がアフリカ・ヨーロッパ・中東、リージョン9がラテンアメリカ、リージョン10が日本を含むアジア太平洋となっています。このようにリージョンとしては北米に多く設置されており、Computer Society会長も、70年の歴史の中で、米国・カナダ以外で教育を受け、他地域で働いている会長は、笠原が最初のことです。

また、Computer Society Japan Chapter は恩師でもある本学名誉教授でEWE会長も務められた成田誠之助先生がChairをされて以来、村岡洋一名誉教授、情報理工学科山名早人教授、小生、本位田真一先生(現NII)、本多弘樹先生(現電通大)、合田憲人先生(現NII)、前出の鷺崎弘宜教授がChairに就任されましたのを始め、多くのEWEの皆様がSecretary、Treasurerとして活躍して下さっており、EWEのComputer Societyに対する貢献には非常に大きなものがあります。

笠原が今回会長に選出された一つの理由としては、Japan Chapter Chairに就任する頃から、会長が情報処理学会全国大会出席の前後に研究室を訪問して下さるようになり、理事(Board of Governors)への就任を勧められ、その後毎年の御訪問時に、NEDOプロジェクトあるいは産学連携プロジェクトで開発した自動並列化及び電力削減マルチコアコンパイラ、コンパイラ協調型自動電力削減可能マルチコアプロセッサ、自動車・医療等の各種組込アプリケーションの並列化、防災を含む科学技術計算並列化等の技術が、世界最高であるというように評価して下さるようになり、世界最高の技術・最先端の産学連携を実施している研究者

が会長になるべきとご推薦戴き、会長選挙に参加することになりました。毎年、会長選挙は2名の候補が推薦され、8月始めから9月末くらいの時期に投票を行い決定されます。しかし、米国を中心とした選挙の経験のない小生にとっては、選挙は大変険しく、3年連続推薦して戴き、3回目ですとやっと当選という形になりました。北米外初めての会長として、学会ボランティアの皆様への感謝を明らかにできるシステムの構築、学会雑誌・論文誌・Web・ビデオ及び国際会議等コンテンツのさらなる高品質化・迅速化、各役職の方のニーズに即した企画、大学・産業界における研究開発・教育のさらなる発展、世界の会員の皆様の満足度の向上、IEEE他ソサエティとの連携等に向け、努力を行って行きたいと考えております。



図2 IEEE Computer Society 2017理事会 (Board of Governors)

会長としての活動は、1年間の見習い期間かと考えていたPresident Electの仕事は、学会全体の2018年から3年間の戦略的活動プランに関するビジョン提示依頼に始まり、ポートフォリオ作成・評価、教育、規約改正等等、非常に多く、委員会（米国での多くの会議の外、深夜早朝の頻繁なネットワーク会議）を含めた膨大な仕事があり、名誉職ではなく実務職であることに驚きつつ、さらに学会の

種々の役職のパフォーマンスが常に評価され、著名な研究者であってもしっかりと当該役職で実績を上げないと解任されてしまう状況を目の当たりにして、緊張感をもち、早稲田の名を汚さないように全力を尽くす覚悟で、仕事に取り組んでいます。この会長職は、3年目のPast President終了まで3年間続くため、力不足の部分を努力で補い、多くの役割を無事遂行すると共に、学会が抱えている種々の問題点を解決していければと考えております。図2に2017年2月に撮影した今年度共に働く理事会の写真を掲載致します。

また、会長職と関連し、2017年1月のPresident Electへの就任と同じタイミングで、IEEE Fellow称号も授与して戴けることとなりました。実は、なかなか時間がとれず申請を行えない状況でありました所、Fellowコミッティのご経験のある松島裕一グリーンコンピューティングシステム研究機構長に励まし戴き、昨年2月始めにSenior申請をし、2月末に昇進し、3月始めにFellow申請をこの度授与され、Fellowとして会長職につけることになりました。松島機構長にこの紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

<略歴>

1980年早大理工電気卒、1985年同博士了、工博、1986年早大理工専任講師、1997年教授、現在情報理工学科教授。1987年IFAC World Congress Young Author Prize、1997年情処坂井記念特別研究賞、2010年IEEE Computer Society Golden Core Member Award、2014年文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）、2015年情処フェロー、2017年IEEE Fellow受賞。IEEE Computer Society 2018 President、2017 President Elect、2009-14理事、マルチコアSTC委員長、Japan Chapter Chair、情報処理学会ARC主査・会誌HWG主査・論文誌HG主査、経産省NEDO情報家電用マルチコア及びアドバンスト並列化コンパイラ等のプロジェクトリーダー、文科省情報科学技術委員、IEEE ACM等の多くの会議のProgram 委員歴任。上記学会に加え、電子情報通信学会、ロボット学会、シミュレーション学会、電気学会等会員。

2016年度早稲田大学ティーチングアワード総長賞、 リサーチアワードをEWEから多数受賞

電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 准教授 柳谷 隆彦

1月24日に2016年度早稲田大学ティーチングアワードとリサーチアワードの授与式が行われました。EWEからは6名の先生方が受賞されました。ティーチングアワードは、創意工夫による教育の質の向上を目的として、優れた教育を実践している教員に対して授与されているものです。またリサーチアワードは、独創的研究の推進と国際的な情報発信力の強化を目的として、大規模研究を主導的に推進している研究者および国際発信力の高い若手研究者を表彰するものです。



授賞式記念撮影（ティーチングアワード総長賞）
後列左から1人目 酒井哲也先生（情報）、3人目 戸川望先生（情報）、
後列右から3人目 若尾真治先生（電生）

今回、EWEから若尾真治先生（電生）、戸川望先生（情報）、酒井哲也先生（情報）がティーチングアワード総長賞を受賞され、リサーチアワードでは、「大型研究プロジェクト推進」を大木義路先生（電生）、林泰弘先生（電生）、「国際研究発信力」を柳谷隆彦（電生）が受賞しました。ティーチングアワード総長賞とリサーチアワード該当者が全学で30名のうち6名をEWEの先生方が占めるとい

う快挙となりました。このことは、教育面、研究面においてEWEが早稲田大学をリードしていることを示しております。



授賞式記念撮影（リサーチアワード）

前列右から4人目 大木義路先生（電生）、前列左から4人目 林泰弘先生（電生）、
後列右から3人目 柳谷隆彦（電生）

僭越ながら私の研究内容を紹介させていただきます。現在スマートフォンには数々の無線周波数から欲しい周波数帯を受信するためのフィルタが搭載されています。これらのフィルタには超音波（弾性波）が使われ、圧電材料から構成されています。国際ローミングの影響で、1台の携帯電話に搭載されるフィルタの数は50個程度にもおよび、各々の無線規格に対応できる適用範囲の広い圧電材料が求められております。私は昨年新しい圧電薄膜材料を発見しました。これをなんとか実用化したいとの思いから、単独で渡米し、米国上位半導体メーカーと交渉に当たりました。その結果、5,000万円を超える特許独占契約・共同研究契約を取り付けることができました。（本学TLOにもご尽力頂きました。）今回の受賞では、このことも大きく評価されたものと思っております。

私の専門の超音波分野は比較的ニッチなイメージを持たれがちですが、実は身の回りに多く存在しております。この受賞を励みに実用化に向けて研究分野を更に発展させ、EWEに貢献していく所存ですので今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

電気・情報生命工学科教員の横顔 (五十音順)



石山 敦士

1983年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。1983年早稲田大学理工学部専任講師。85年助教授、91年教授。先進理工学部長、先進理工学研究科長、研究推進部長など歴任。2014年より研究推進担当理事。専門分野：超電導技術の応用に関する研究をしています。具体的には、超電導電力ケーブルや超電導電力貯蔵装置、核融合などの電力・エネルギー応用、高磁場MRIやがん治療用加速器などの医療応用、そして超電導磁気センサーやfMRIを用いた生体機能計測などの研究・開発に取り組んでいます。



井上 真郷

1997年京都大学医学部医学科卒業、2003年京都大学大学院医学研究科博士課程修了、博士（医学）。理化学研究所、東京工業大学、早稲田大学理工学部専任講師、准教授を経て、2013年より教授
専門分野：データのゆらぎを考慮する確率的情報処理を基盤として、医療画像、音声解析、自然言語処理、ゲーム最適戦略などの機械学習課題を研究しています。



岩崎 秀雄

1995年 名古屋大学農学部農学科卒業、1999年 名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了、博士（理学）。
日本学術振興会特別研究員、名古屋大学大学院理学研究科助手、早稲田大学理工学部准教授を経て、2012年より現職。
専門分野：細胞生物学、生物学史、遺伝学、細胞分子生物学、システム生物学、科学と芸術



岩本 伸一

1971年早稲田大学理工学部電気工学科卒、1978年早稲田大学理工学研究科博士課程修了、工学博士、東海大学専任講師、早稲田大学助教授を経て、1986年より現職。
専門分野：電力システムの運用・制御・解析に関する研究・開発を行っています。研究対象は、新エネルギー導入下や電力自由化下での電力の安定供給手法の開発です。学生の国際化のために、日本語・英語のバイリンガル授業・ゼミを行い、学生による国際学会発表を活発に行っています。



内田 健康

1971年早稲田大学理工学部電気工学科卒業、1976年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了、早稲田大学理工学部助手、助教授を経て、1983年より教授。

専門分野：宇宙・深海など極限の世界、環境・エネルギー・交通・ネットワークに囲まれた社会、そして医療・生命の世界を対象として、その中にあるさまざまなシステムの機能を実現している「情報と制御」の原理の研究。



大木 義路

1973年早稲田大学理工学部電気工学科卒。1978年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士。早稲田大学理工学部専任講師、助教授を経て、1985年より教授。文科大臣表彰科学技術賞など受賞。

専門分野：電気を絶縁し光の伝搬も制御する重要な材料である誘電体を研究しています。新しい分光法や光学センサの開発などとともに、材料の劣化評価については大きな国のプロジェクトにも取り組んでいます。



岡野 俊行

1988年 京都大学理学部生物物理学科卒業、1993年 京都大学大学院理学研究科博士課程修了、博士（理学）。

日本学術振興会特別研究員、東京大学教養学部助手、東京大学大学院理学系研究科助手、講師、早稲田大学理工学部准教授を経て、2011年より現職。

専門分野：細胞生物学、分子進化学、免疫学、フォトバイオロジー



木賀 大介

1994年東京大学理学部生物化学科卒。1999年同大理学系研究科生物化学専攻博士課程満期退学。1999年東京大学博士（理学）。1999年から2004年まで、理研や東大等でのポストクの後、2004年東京大学 大学院総合文化研究科 助手、2005年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻助教授・准教授を経て、2016年より現職。

専門分野：合成生物学、生物物理学、生化学



胡桃坂 仁志

1989年東京薬科大学薬学部衛生薬学科卒業、1995年埼玉大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士（学術）。

米国 National Institutes of Health 博士研究員、理化学研究所研究員、早稲田大学理工学部助教授を経て、2008年より現職。

専門分野：分子生物学、遺伝子工学、構造生物学特論。



小林 正和

1983年早稲田大学理工学部電気工学科卒業、1988年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了、工学博士。

Purdue University Principal Research Scientist、千葉大学工学部助教を経て、2000年より現職。

専門分野：電磁気学、電子回路、光デバイス



柴田 重信

1976年九州大学薬学部薬学科卒業、1981年九州大学大学院薬学研究科博士課程修了、薬学博士。

九州大学薬学部助手、助教授、早稲田大学人間科学部助教授、教授を経て、2003年より現職。

専門分野：生理学、薬理学、神経薬理学、細胞生物学。



宗田 孝之

1980年早大理工電気工学科卒。1982年早大大学院理工学研究科電気工学専攻修士修了。1985年同博士課程電気工学専攻修了、工学博士。

1984年早大理工学部助手。1986年静岡大学工業単位学部勤務。1988年早大理工学部専任講師。1990年同助教授。1997年同教授。

専門分野：物性物理、医療光学、法科学など



高松 敦子

1989年東京工業大学応用物理学科卒業、1997年東京工業大学大学院生命理工学研究科博士課程修了、博士（理学）。

理化学研究所基礎科学特別研究員、科学技術振興機構さきがけ研究21研究員、早稲田大学理工学部准教授を経て、2009年より現職。

専門分野：数理生物学、細胞生物学、生命システム論



武田 京三郎

1978年慶應義塾大学理工学部計測工学科卒業、1983年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了、工学博士。

日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所（現NTT基礎研究所）主任研究員を経て、1995年早稲田大学理工学部助教授、1997年より現職。

専門分野：物質の量子論、物質の電子論、量子材料学特論



浜田 道昭

2002年株式会社富士総合研究所、2010年東京大学特任准教授、2014年早稲田大学准教授、2016年産総研・早大生体システムビッグデータ解析オープンイノベーションラボラトリ配列解析アルゴリズム班班長(兼務)。

専門分野：バイオインフォマティクス・生命情報科学・データマイニング・機械学習



林 泰弘

1989年早稲田大学理工学部電気工学科卒。1994年大学院理工学研究科博士課程修了(工学博士)。同大学理工学部助手、茨城大学工学部講師、福井大学大学院工学研究科助教授を経て、2009年より早稲田大学先進理工学部教授。2014年より早稲田大学スマート社会技術融合研究機構(ACROSS)機構長兼任。

専門分野：スマートグリッド技術やエネルギーマネジメントシステム(EMS)の最適化の研究開発、デマンドレスポンス技術及び電気エネルギーの予測・運用・制御研究。



牧本 俊樹

1983年東京大学工学部電気・電子工学科卒。1985年東京大学工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1993年東京大学博士(工学)。

1985年日本電信電話株式会社入社。日本電信電話株式会社・NTT物性科学基礎研究所所長を経て、2013年4月より早稲田大学電気・情報生命工学科教授。

2015年平成27年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。
専門分野：半導体工学



村田 昇

1987年東京大学工学部計数工学科卒業、1992年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士(工学)東京大学工学部助手、理化学研究所脳科学総合研究センター研究員、早稲田大学理工学部助教授を経て、2005年より現職。

専門分野：確率・統計、多変量解析、信号処理



柳谷 隆彦

2001年同志社大電子工卒。2006年同志社大大学院電気工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）、産総研関西産学官連携センター特別研究員、日本学術振興会PD（東北大学）、名工大機械工学科助教を経て、2015年 早稲田大学電気・情報生命工学科准教授、2016年科学技術振興機構さきがけ研究員（兼任）。

専門分野：超高周波超音波を用いたスマートフォン向け無線フィルタ、抗原抗体反応センサ、電波エネルギーハーベスタに関する研究など。



若尾 真治

1989年早大電気工学科卒。1993年同大博士後期課程修了、博士（工学）。2006年同大理工学術院教授、2016年より同大先進理工学部長・研究科長、現在に至る。

専門分野：電気機器から生体にまで及ぶ様々な電磁現象のコンピュータシミュレーションおよび再生可能エネルギーの活用技術に関する研究。対象として、エネルギー変換機器全般、医療機器、電気鉄道、太陽光発電システムなど。



渡邊 亮

1987年慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業、1995年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了、博士（工学）。

石川島播磨重工業株式会社、大阪大学大学院工学研究科講師、早稲田大学理工学部助教を経て、2007年より現職。

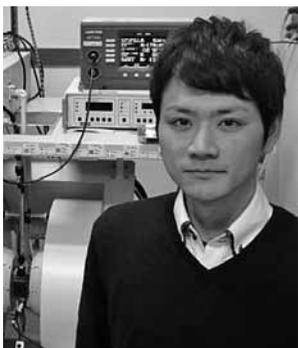
専門分野：制御工学、メカトロニクス、回路理論

若手OBの活躍

「研究者としての第一歩」

静岡大学 電子工学研究所 講師

堀 匡寛 (2008年電気・情報生命工学科卒)



私は、2008年に電気・情報生命工学科を卒業し、2012年にナノ理工学専攻博士後期課程を修了しました。その後、日本学術振興会特別研究員、富山大学理工学研究部助教を経て、2016年より現職に至ります。

早稲田大学には8年間在籍しましたが、入学当初の私は学部卒業後に就職することを考えておりましたので博士課程まで進学するなどとは想像もしておりませんでした。学部時代の私は恥ずかしながら大

して勉強もせず、サークル活動や趣味などに力を注いでいたわけでもありませんでした。漫然と過ごしていた私の学生生活が大きく変わったのは、学部3年次の研究室配属でした。私は仰々しくも、これは私の大学生活を変えるための大きなチャンスかもしれないと思い、厳しい研究指導で評判だった大泊先生の研究室を志望しました。当時の研究室は、谷井先生、渡邊先生、品田先生といったスタッフに加えて、優秀な博士課程の方々が揃っており、ゼミや研究打ち合わせでは活発な議論や鋭い質問が飛び交っておりました。お世辞にもデキる学生ではなかったため、私のゼミ発表での思い出は苦いものばかりでしたが、研究室の同期や先輩方にも支えられて、私なりに成長することができたかと思えます。

大泊先生から与えられた私の研究テーマは、「単一原子の制御」という魅力あるものでした。これは、たった1個の原子を半導体中に制御して打ち込むというもので、独自開発した装置（シングルイオン注入装置）を使用します。独自装置の性質上、その操作技術の修得に苦しんだり頻繁に故障する装置の修理に手間取ったりなどもしましたが、一つずつ問題を解決していくたびに達成感を覚え、

昼夜問わず実験するほど研究に没頭していきました。ひと区切りつくまで研究を続けたいという思いから大学院へ進学し、谷井先生と品田先生の熱心なご指導のお陰で博士号を取得することができました。またこの間、不自由のない贅沢な研究環境も用意して下さいました。私が研究者としてのスタート地点に立つことができたのも、先生方のお陰だと思っております。

昨年、私は静岡大学電子工学研究所に着任しまして、周囲の方々の支えもありながら独立した研究者としての第一歩を踏み出し始めました。現在は、私の研究室に配属された学生と一緒にナノデバイスに関する研究をしています。具体的には、将来の革新的な電子デバイスの開発に向けて、シリコン半導体中の「単一の不純物原子（もしくは単一欠陥）」にトラップされた「たった1個の電子」を操作する技術を確立しています。電子は、電荷の性質とスピン（磁気）の性質を有していますが、ここではその両方の性質を同時に制御することに挑戦しています。まだまだ研究者として未熟ではありますが、少しでも多くの成果を創出できるように努力して参りたいと思います。

日々の研究に目を向けますと、（皆様もご経験があるかと存じますが）大半が思い通りにならずなかなか進みません。そのような状況でも諦めずに挑戦し続け、少しでも前進したときの喜びは何事にも代えがたいものがあります。一方で、私ひとりの力ではどうしても解決できない問題も多くあります。そのような時は、私のちょっとしたポリシーなのですが、出来ないことや分からないことを素直に認めて周囲の人に相談するように心がけています。私の場合は特に、早大出身の研究者の方々に相談に乗って頂くことが多く、とりわけ親身になって下さいます。この度、畏れ多くも「若手OBの活躍」の執筆という貴重な機会を頂きましたので私からご卒業される皆様へアドバイスさせて頂くとすれば、まさに上述した通りでして、私は物事を進めるためには時として恥をも捨てて周囲に助言を仰ぐべきだと思っています。幸いにも皆様の周りには、恩師や同級生、OBといった多くの相談相手がいらっしゃると思います。これから社会に出られる皆様にとって早稲田で構築した人脈は必ずや財産になることと思います。

最後になりますが、ご卒業される皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

修士課程修了にあたって

電気・情報生命専攻 堀内 秀祐
(渡邊研究室)



私は学部3年から現在所属する渡邊研究室において、電気自動車におけるエネルギー消費抑制と人体の快適性維持の研究を行ってきました。

この研究を行うにあたって微分方程式による温度変化の表現の学習と、これを連立して解くことで車体や人体の温熱環境を再現するモデリングや外部環境などによる影響を考慮したシミュレーションを学んできました。そして、この研究ではカルソニックカンセイの方々と共同研究をさせていただきました。共同研究では月に一度進捗報告があったので、闇雲に研究を進めるのではなく、毎月自分の中で明確な目標を立てそれを達成すること、研究の先を見据えて何をどう進めるかを考えること、進捗結果を簡潔に伝わるように発表することといった社会に出てから役立つ貴重な経験を積むことができました。

研究を進めるにあたりシミュレーションが上手くいかないことが多くありましたが、何が駄目なのかを追求する根気、どのようにアプローチをかければ的確に問題を解決することができるのかを考える方針を学ぶことができ、配属の頃に比べ大きく成長できたと感じています。

今、私が成長を感じられるのは研究室での周囲の支えがあったからこそだと確信しています。同研究室の渡邊亮教授をはじめ、研究が行き詰ったときに的確なアドバイスをくれた先輩方、ゼミ合宿や発表会などに限らず多くの場面で苦楽を共にした同期、後輩達に支えられ研究室生活を過ごせたことに心から感謝しております。

3月に修士課程を修了し、4月からは社会人として働きますが、これまで支えてくださった皆様への感謝を忘れずに、研究室で学んだ多くの経験を活かして社会に貢献していきたいと思えます。

情報理工・情報通信専攻 川口 竜太郎
(菅原研究室)



研究室に配属されて3年間、私はマルチエージェントシステムにおける効率的なタスク割り当てについて研究を行いました。研究は必ずしも上手くいくことだけではなく、行き詰まることも多々ありました。なるべく一人で問題点やその原因を論理的に考えるようにしてきましたが、一人で考えても分からないときは先生や研究室の同期・先輩方と相談や議論を交わすことで問題点を洗い出すようにしてきました。議論することで見えていなかったものが見え、それによって今までとは違った視点から考えることができ、一人では思いつかなかった解決策や新たな手法を見つけることができました。私はそこで議論することやそれによって得られるものの大切さを学ぶことができたと思います。結果的に研究の成果を上げることができ、国内の研究会や国際会議で発表する機会を頂きました。先生、研究室の同期・先輩方には本当に感謝しています。

研究の成果の発表の場として、修士1年のときにシンガポールで行われた国際会議に参加しました。私はそこで英語での発表の難しさをとっても痛感しました。それまでに国内の研究会に参加して発表した経験は一度ありましたが、英語での発表は初めての経験でした。自分の研究内容を英語で伝え、理解してもらうことがこれほど難しいとは思ってもよらず、悔しい思いをしたのを覚えています。しかし、その経験が英語を勉強するモチベーションになり、他にも研究を分かりやすく伝えることを意識するきっかけにもなりました。本当に貴重な経験をさせて頂きました。

最後に、修士課程を修了するにあたり、熱心にご指導して下さった菅原先生をはじめ、研究室の先輩・同期・後輩に心から感謝申し上げます。本当に多くのことを学ばせていただき、自分にとって大きく成長できた3年間になりました。今後も研究室で学んだことを生かし、社会で活躍できるよう、精一杯努力し、邁進していきたいと思っています。

電子物理システム学専攻 小林 直史
(庄子研究室)



私は研究室に配属されてから3年間、次世代のディスプレイや照明の実現に向けて、半導体微細加工技術を用いた新規発光材料の有機EL開発に取り組んできました。最初は学部の授業では習ったことがない領域だったため、ほとんどゼロの知識からのスタートでした。しかし、勉強会でのサポートや先輩方の指導のおかげで知識を深めることができ、一人でデバイスを作製し、評価することができるまで成長することができました。

庄子研究室では、一人一人独立したテーマに取り組み、さらに一人で複数の他分野の研究に携わることができたため、様々な企業や研究機関の方と共同研究や議論をする機会を与えていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。

さらに、学部時代に得られた成果で修士1年の時に国際学会での発表と論文投稿をさせていただきました。初めての学会が国際学会だったため緊張しましたが、他の研究者の方々が熱心に聞いてくれて議論や助言をしてくださったおかげできわめて有用な時間となりました。また、世界中の科学者の研究内容に接することができ、こんな発想があるのかと大いに刺激を受けました。

その後、先生方や博士課程の方々から何度も助言・修正をしていただきながら論文を書き上げ、査読付きの論文誌に採択されました。論文は以後、書物として残り世界中の科学者に読まれるのでプレッシャーもありましたが、学生のうちにこのような大変貴重な経験をすることができたことに心から感謝しています。

最後に修士課程修了にあたり、手厚く研究指導をくださった庄子先生、水野先生、関口先生に感謝いたします。そして、研究生活を支えてくださった研究室の皆様、共同研究先の方々、友人、家族にも感謝いたします。今後は3年間で学んだことを活かして、社会に貢献できるよう邁進していきたいと思っております。

地方本部だより

東海地方本部だより

東海地方本部では、6月10日（金）に名鉄グランドホテルで平成28年度の総会を開催しました。EWE本部より花澤隆会長、若尾真治副会長をお招きし、地方本部からは15名の会員にお集まりいただきました。

総会は、竹尾聡本部長（S49電）の開会挨拶に始まり、花澤隆会長、若尾真治副会長よりご挨拶をいただきました。ご挨拶の中で、花澤会長から、早稲田電気工学会EWEの活動や工事後の中庭の様子、今後の校舎建替えについて、若尾副会長から、大学ランキングで早稲田大学の占める位置についてご紹介いただき、歓談へと移りました。

最後は、恒例の「紺碧の空」「都の西北」の斉唱とエールを行った後、内藤副本部長（S51電）の閉会挨拶があり、盛況のうちに閉会となりました。

ご出席いただいた花澤会長、若尾副会長、ならびに、ご協力いただきましたEWE本部の皆様には厚く御礼申し上げます。

東海地方本部では、今後も定期的に総会を開催し、企業や世代の枠を超えて交流を深めていきたいと考えております。東海地方にお住まいの方や転勤で来られた方は、是非一度総会にご参加ください。ご連絡をお待ちしております。



中国地方本部だより



中国地方本部では平成28年度の総会を6月10日（金）にメルパーク広島で開催しました。ご来賓として、EWE本部より堀越会長代理をお招きし、地方本部会員からは15名が出席されました。

総会では、堀越会長代理からEWEおよび早稲田大学の近況について、写真を交えて紹介していただき、美しい中庭やキャンパス内の駅設置などに驚きの声があがりました。また、学生の就職状況についてもご紹介いただき、学部卒と院卒の就職動向の違いや、就職先が昔とは変わってきていることなど、大変興味深く聞き入っておりました。

総会に続く親睦会は、本部顧問の金川さま（S34卒）の乾杯により始まり、旧交を温め合いました。多方面で活躍されている諸先輩方からお話をいただき、幅広い年代の会員が、来賓を囲んで楽しく親睦を深めることができました。

会は恒例により校歌「都の西北」を斉唱し、さらには出席者の飛躍を誓い、応援歌「紺碧の空」を出席者全員で肩を組んで歌いました。最後は、僭越ながら私進藤（H21卒）の音頭によるエールで親睦会は盛況のうちにお開きになりました。

ご多忙の中ご出席をいただきました堀越会長代理、ならびにご協力いただいたEWE本部の皆さまに改めて厚く御礼を申し上げます。また、今後も微力ながら母校の発展のため、当地方本部の活動を盛り上げていきたいと考えております。

最後になりますが、中国地方の親睦の輪を広げていくためにも、転勤などで中国地方に来られた方、案内が送付されていない方、またその他ご意見・ご要望がございましたら、事務局までご一報ください。

東北地方本部だより

東北地方本部は、東北地方6県および新潟県に在住または勤務する会員で構成されており、1～2年に1回程度仙台に集まり、親睦を深めています。今年度の総会は、10月21日に「ホテルモントレ仙台」において、花澤隆会長ならびに菅原俊治副会長をお招きし、東北地方本部会員15名の出席により開催しました。

総会は、渡部孝男東北地方本部副本部長の挨拶で開会し、本部からのご来賓より、EWEの運営方針や電気関連学科の変遷についてご紹介いただきました。

総会に続いての懇親会は、近況報告などで親睦を深め合い、最後に「都の西北」「紺碧の空」を斉唱し、盛況の中、散会となりました。

改めて、ご出席いただきました花澤会長、菅原副会長ならびにご協力いただいたEWE本部の皆様は厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から6年になりますが、東北地方の太平洋側沿岸部においては、未だ復興の途上にある地域がたくさんあります。

会員の皆さまには、東北の農産物、漁獲類の購入や温泉や観光地への来場を通じて、引き続きのご支援をお願いいたします。

最後になりますが、転勤などで東北に来られた方、案内が送付されていない方は、事務局までご一報ください。



関西地方本部だより

関西地方本部では、11月22日（火）に2016年度の総会を大阪梅田グランドビル19階「関西文化サロン」で開催しました。EWE本部から花澤隆会長をお招きし、関西地方本部からは39名の会員に出席いただき、活気ある会となりました。

総会は、浜野正幸会長（S59電気、関西電力）の挨拶に始まり、その後花澤会長からはEWEの活動状況や現在のキャンパスの様子、昭和42年当時のキャンパスの様子、キャンパス前の地下鉄駅の設置など色々なお話をしていただき、出席者一同聞き入っておりました。

総会後の懇親会では、鈴江啓宏氏（S41電気）のご発声で開会し、浜野会長より「海外における水力発電事業」についてご講演を頂きました。その後恒例の早稲田グッズの景品も用意したビンゴゲームで盛り上がり、紙中伸征氏（S44通信修）のご発声による万歳三唱で、盛況のうちに閉会しました。

最後になりましたが、当日ご多忙な中ご臨席いただきました花澤会長、ご協力いただきましたEWE事務局の皆様には厚くお礼申し上げます。

さて、関西地方本部では、今後のますますの発展のため、関西に在住される会員の把握と総会出席の呼びかけに取り組んでおります。転勤で関西に来られた方、また会員をご存知の方は、関西地方本部までご一報よろしく申し上げます。



九州地方本部だより



九州地方本部では、平成29年2月17日（金）に八仙閣本店（福岡市内）において、平成28年度の総会を開催しました。ご来賓として、EWE本部より花澤会長をお招きし、地方本部会員からは26名にご出席いただきました。総会は、辛島本部長（S53電）の挨拶で始まり、滞りなく終了しました。

総会および懇親会では、花澤会長からEWE活動や早稲田大学の近況についてお話をいただき、参加者一同、ソフトボール大会や立派に増築・整備された母校のキャンパスの写真に驚きながら聞き入っていました。

懇親会では、早稲田大学に関連のある品を景品としてくじ引きを行い、花澤会長がくじを引かれる度に会場は大盛り上がりとなりました。親睦が深まった後は、全員で円陣になり肩を組みながら、毎年恒例の「都の西北」を斉唱しました。校歌を歌う皆様はいつも増して笑顔で生き生きとしていました。最後は磯谷くん（H22電）の音頭によるエールで、懇親会が盛況のうちにお開きになりました。

当日、多忙中、ご出席いただきました花澤会長、ご協力いただきましたEWE事務局の皆様には厚くお礼申し上げます。

九州地方本部では今後も定期的に総会を開催し、より多くの会員の方と親睦を深め、「都の西北」を大斉唱したいと思っています。総会においては、年々参加会員が減っていることから、総会の今後の更なる活性化のためにも九州地方EWE会員の把握や総会出席の呼びかけに取り組んでおります。九州に新たにいられた方、また在住でありながら総会案内等の連絡がない方、もしくはお知り合いでEWE会員をご存知の方は、お手数をお掛けしますが、事務局までご一報をいただければ幸いです。

北海道地方本部だより

北海道地方本部では、平成29年2月17日（金）に札幌市内において北海道地方本部総会及び懇親会を開催し、幅広い世代から9名の会員にご出席をいただきました。

総会は、本部長の藤井明雄（S57）の挨拶で始まり、幹事交代の報告などののち、滞りなく終了しました。その後の懇親会では、諸先輩方と思い出話で大いに盛り上がり、世代を超えて楽しく親睦を深めることができました。そして、時間を忘れるほどの盛況のうち終了時間を迎え閉会となりました。

北海道地方本部では、ここ数年、新入会員に恵まれず、会員数が増えていない状況ですが、今後も総会や懇親会などの多くの会員のみなさまが親睦を深められる場を作っていくことで、地方本部の活動を盛り上げて行きたいと考えております。今回、参加されていない方も、次回のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりますが、北海道在住の方で地方本部総会のご案内が送付されていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですが事務局までご連絡をお願い致します。



地方本部連絡窓口一覧

北海道地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
東北地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
北陸地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
東海地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
関西地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
中国地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。
九州地方本部	個人情報の為、HP上には掲載しておりません。

クラス会だより

電気通信学科37年卒 2015年度クラス会

卒業以来、毎年3月7日前後に開催されているクラス会が、2016年3月5日地下鉄、表参道駅近くのNHK青山荘にて今年も開催されました。今年の幹事は富士通、松下グループが取り仕切り、遠路はるばる神戸、大阪、豊橋、高崎などから駆けつけた仲間を含め、24名の参加がありました。

例年出席される堀内先生はご都合がつかず、堀内先生の代わりにご挨拶ということで、富永君(名誉教授)が挨拶を行い、事前に配布された平山先生の追悼抄「工学部通信科の歴史」などを含め挨拶を行いました。

その後、それぞれ近況の交換など歓談に移り、最後に集合写真撮影、恒例の根岸君音頭の校歌斉唱を行い来年の再会を約し、解散しました。

今回の幹事担当は通信・電力他で会場は、幹事の一人富永さんの自宅兼研究室が提供される予定になりました。 (記 三木 博之)

追伸：根岸兄が2016年12月逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。



電気通信学科 1947 (昭22) 年卒クラス会

昨年の生存者6名は健在であり、今回も5月7日東京近辺在住の4名が、リーガロイヤルホテル東京・レストラン「なにわ」に集まる予定でしたが、伊藤さんが急用のため欠席で、3名となりました。

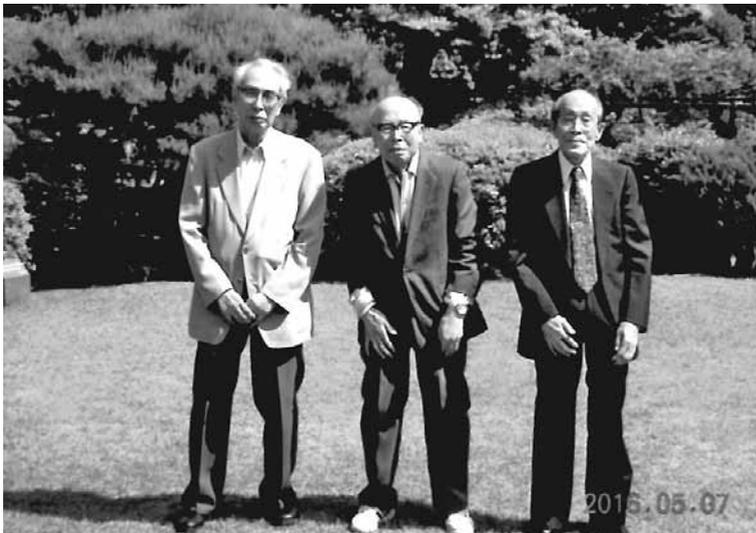
全員90歳を過ぎ、毎年のことながら健康情報交換と戦中戦後の経験が主な話題でしたが、今回は第一学院入学初期の頃に戻った話も出ました。それは、入学早々の4月18日の米軍機による鶴巻町への爆弾投下騒ぎとか、今も盛業中の高田牧舎が当時から高級で、昼食に毎日なかなか利用できなかったこと、第一学院近くの穴八幡の情景などでした。

この会も1998年(平成10年)から欠かさず行ってきたこともあり、できる限り続けようと申し合わせて散会しました。

好天の大隈庭園に出て、つつじの前で記念撮影をしましたが、今年は昨年より2日早かったにもかかわらず、つつじの花はもう終わりに近づいていました。

(赤松正也 記)

出席者 (写真左から、栗島、和田、赤松)



電気工学科 1953 (昭28) 年卒クラス会便り

卒業以来毎年 欠かさずクラス会を開催、今年は63周年に当たる。昨年は15名出席と最近にない多数の出席だったが、今年は元気だが他の予定があったり、退院が伸びてしまったとか、娘と外人の夫の送迎を受けた人もいたが 結局クラス会初めて一桁の9名と寂しい会となった。しかし晴天に恵まれた。会場は前年と同じ 日本情緒豊かな、妻籠の御膳の「木曾路」新橋店だ。出席者が少ないのでしばし近況の話をした後、改めて各人の近況の話を順にスピーチして貰った。

元気な人もいるが、全体の記念写真を眺めると、さすがに80台半ばの老人の会合だ、老人を感じさせる。やや盛り上がりには欠けたが、お互いに健康を祈って来年もと約束して散会した。

予定出席者は9名、ドタキャンが出て幸せな出席は8名 池田・菊池・富田・中村・中田・「以下幹事」澤田・清水・島田であった (投稿者：島田 好恵)



電気工学科 1962 (昭37) 年卒クラス会

2016年10月30日（日）恒例の1962年卒電気工学科クラス会がリーガロイヤルホテルローズルームで開催されました。例年10月末の日曜日に大隈会館で行われてきましたが希望日に大隈会館の予約が出来なかったためやむを得ず場所を変えて開催することになりました。結果、多少参加費が高まりましたが、気分一新なかなか密度の高いクラス会となりました。

この1年1人の仲間を失うことになりました。冥福を祈り黙祷で開会。後は懇親の場となり談論風発！ あっという間の楽しい時間でした。参加者は24名。ぎりぎり体調を崩し参加できなかったI君。来年は是非体調を整えてご参加ください。

皆様何といても寄る年波！ いろいろ故障も出てくるでしょうが何とか来年も元気に集まりたいものだと思います。

(記：加藤)



電気通信学科 1966 (昭41) 年卒クラス会

昭和41年電気通信学科卒業のクラス会を2016年10月22日(土)に、西早稲田キャンパス竹内ラウンジで開催しました。皆さんが70歳代半ばに差しかかっているので、今回も昼間の開催。正午に開会、午後2時に中締めという、すこぶる健康的なランチパーティーに。出席者は27人でした。



卒業から50年という節目の今年は、今までとちょっと違った趣向にしようとして幹事メンバーが一致。近況報告など各人のスピーチは見送り、会場にグランドピアノがあることに着目し、楽器演奏などをしてもらおうと計画しました。



開催案内状で「若い頃から鍛えた『名手』、七十の手習いで始めた『迷手』など、出欠ご返信の際にお申し込みください」と特技を披露してくれる人を募りました。

男性ばかり30人ほどの集まりですから手を挙げてくれる人がいるか、という心配をよそに、ピアノ演奏が3人、日本歌曲独唱1人、そしてなんと、能楽の小鼓演奏1人という盛況ぶり。いったん閉会したあと、同じ竹内ラウンジのソファ席での「二次会」も大いに盛り上がりました。

全員が喜寿を過ぎる5年後までは毎年開こうよという希望が多く、1年後の再開を約束してお開きとなりました。(記 杉原鉄夫)



電気通信学科 1951 (昭26) 年卒クラス会



小林 橋本 南 齋伯 谷池 八幡 堀家

例会に集まりし朋友は七名。お互いに健康を喜び旧交を温めた日も所も昨年と同じ。また来年も同じである。老人には変化は少ない方がよいと言うことであるが世の中の変化はそうは行かない。

「2016年の漢字」は「金」だったとの事だが、年を終え日本列島はじめ世界の動きはまさに『驚』であったし、ますます「驚度」は高まるばかりと思われる。

我々の関係してきた技術も今や、AI或いはIoTと時代の先端を歩き、その動きは止まるところがない。

思えば敗戦後の荒廃した祖国で我々は「電気通信」を専攻として選んだ。「半導体」の話を広田友義教授から伺ったが、当時その将来性を唯夢としか受け止められなかった。

卒業後ウィナーの「サイバネティックス」(ギリシャ語で「舵手」。日本語では「人工頭脳」)を知り、またシャノンの「情報理論」を齧ったが、そう言う学問があったのかと思うばかりで、ただ将来何か変わるぞ夢はあると思ったに過ぎない。

それがどうだ。今や「電気通信」と言う名の学科も無くなってしまった。(*編集部注)しかし、夢は立派に実現し世の中への影響も高まるばかりである。

さしたる業績を残すことは出来なかったが、この夢を選んだという自負はある。

卒業後数十年にわたり殆どのクラス会に出席して頂いた平山博先生が亡くなられた。「急逝された黒川兼三郎教授に代わって教鞭を取ったのが君たちのクラスなのだよ」と何時も懐かしそうに最後まで親しくして頂いた恩は忘れられない。

ここに 深く哀悼の念を捧げたい。

2016.12.20 文責 齋伯 哲

*編集部注 2014年度から、学科名に「通信」が復活しました。

電気科 1959 (昭34) 年卒「われらWE34会」クラス会

昨年6年振りにクラス会の開催をしたところ、久しぶりの再会を楽しんだ出席者の多数の意見で、今年も続けて第20回の「われらWE34会」を開催した。

場所も昨年と同じ早大西早稲田キャンパスの「竹内記念ラウンジ」を利用させて頂いた。参加者は昨年よりやや少ない25名であった。

顔ぶれはほぼ昨年と同じであったが、体調が回復したH君が新しく参加してくれたことはうれしかった。体調その他都合が悪くて出席できない級友が何名かいたのは残念であった。



前回孫自慢をしてくれたT君は今年も神宮球場に東京六大学リーグ戦の応援に通っているとのことで活躍の様子を発表してくれた。期待していた久しぶりの勝ち点を挙げることは2017年のシーズンに持越しとなり、あと1年応援に熱が入るとのことであった。

更に、昨年華麗なマジックを披露してくれたS君は今年も新しいマジックショーを見せてくれた。今年のために新ネタを練習してきたそうで、見事な腕前であった。人生いくつになっても目的を持って勉強を続けることの素晴らしさを実感させられた。S君がマジックによるボランティア活動をこれからも長く続けられるよう望んでやまない。

各人がそれぞれ近況を報告し合い約3時間にぎやかに懇談した。

次回開催の予定は決めなかったが、数年以内に必ず再会しようと言う申し合わせで散会した。

(記 中村仁士)



学生支援基金報告

ETロボコン2016 活動報告とご協力へのお礼

基幹理工学部 情報理工学科 鷺崎研究室 学部4年
渡邊 泰宏 細野 将揮

ETロボコン2016とは、LEGO®Mindstorms EV3を用いた二輪倒立走行ロボットを走らせ、数々の難所の攻略を目指すプログラムの作成を課題とした、組込みソフトウェアの設計・開発を競う競技会です。高さの低いゲートや段差など、いくつかの障害物が設置されたコースをロボットが走破するためのプログラムを作り、ゴールまでのタイム・審査員による設計の妥当性、そしてUML記法の正確さを競います。

我々は今回6名のチームで参加しました。ほとんどのメンバーが組込み開発は未経験という状況で、時には夜遅くまで残り、プログラムの開発・調整を行いました。今年度は例年と比較して多くの留学生も積極的に参加し、英語によるミーティングなど、近年稀に見る難しさがありましたが、多様なメンバーで楽しく進めることができました。

レプリカコースで練習し、万全の状態でも本番に臨んだつもりでしたが、目標であった予選突破は叶いませんでした。しかし、ハードウェアや周囲の環境など様々な要因に左右される、組込み開発の難しさを体感することができ、メンバー一同とても良い経験になりました。最後になりましたが、大会の参加費にEWEの学生支援基金を利用させていただきましたこと、深くお礼申し上げます。



先輩訪問

日本電気（NEC）



2016年11月18日に、情報理工学科、情報通信学科、情報理工・情報通信専攻の学部3年生から博士1年生の学生11名でNEC品川ショールームを訪問し、NECの中央研究所に勤務する早稲田大学の先輩方に貴重なお話を伺いました。

本訪問では、最新技術を体験できるNEC Innovation Worldのショールーム見学と、それらの技術を生み出す最前線で働かれている早大OBの方とお話・Q&Aが行われ、大変有意義な時間となりました。その訪問内容を報告いたします。

はじめに、ショールーム見学ではNECならではの技術を活用したさまざまなソリューションやサービスを紹介していただきました。今回は8つあるエリアのうち、セーフティ&セキュリティについての技術をご紹介します。一例を挙げますと、「生体認証ソリューション」では指紋と指静脈を組み合わせることで高い認証精度を保障する指ハイブリッド認証や、世界でもトップクラスとなる誤検索率の低さと検索スピードの速さを有する顔認証技術について実演を交えて説明していただきました。

「監視カメラ映像解析システム」では簡単な操作で特定の動作や立ち入りの検出、検知対象となる区域の指定等を可能とする技術を紹介していただきました。「超高感度カラーカメラによる映像監視ソリューション」では、肉眼では何も見えない暗室を実際に覗いた後に、超高感度カメラを通した映像を見せていただき、「こんなに目立つ物が室内にあったのか!」という驚きと、人間では感知できない状況でも鮮明に情報を取得できる高い技術力を感じました。

これらの説明を通して、高度な技術開発だけでなく、それらを組み合わせることで社会の問題をいかに解決できるかを考えることの重要性を感じました。このような技術要素と社会とのつながりを体感させていただき、それを意識すること

で我々学生の今後の研究に対する取り組み方も高いレベルにできると感じられました。また、各ソリューションの紹介毎に学生から複数の質問があり、その1つ1つに丁寧に回答していただきました。見学後には気になった展示についての資料を全員が複数枚希望しており、参加した学生達の高い関心が伺えました。

次に、早稲田大学の先輩である吉田様と高橋様からこれまでのキャリアや研究内容をご紹介いただき、学生とのQ&Aの時間を取っていただきました。吉田様からは研究・開発・イノベーションプロデューサーと多様なキャリアを歩んでこられた経験から、それぞれの視点からの社会や技術の動きと、今後どのような心構えで自分のキャリアを考えると良いかというアドバイスを頂きました。特に、「近年の社会や技術の変化のスピードを考えると1つのキャリアのみで生涯を過ごすというのは難しい。好奇心・持続性・柔軟性・楽観性・冒険心をもって広くキャリア形成を考えて。」というお言葉は、自分の目指すキャリアを模索している我々学生にとってきわめて有用な指針となりました。高橋様からはNECの誇る通信技術の根底となる高い通信品質の重要性と今後の展開や、海外における競合他社との標準化会議での経験、シリコンバレーでのビジネスと基礎研究を両立する研究者達との研究経験などのグローバルな実体験を紹介していただきました。特に、標準化会議での裏話や世界的に連携できる研究者がいるというNECの強みを感じた経験など、研究者としてのグローバルな活躍について興味深いお話を聞かせていただきました。これらの中で、研究室での研究だけではイメージしづらい「企業での研究」がどういうものかを感じることができました。

その後のQ&Aでは、どのように大局的な視野を持って研究のテーマを定めるか、社会での研究活動を経た上で学生の時にやっておけばよかったと思うこと、研究職の方の普段のスケジュール、博士号の取得と企業への就職についてなど、様々な質問にお答えいただきました。私たちが抱えている疑問に対して日本の技術の最先端を担う方々から意見を頂戴でき、大変参考になりました。

最後になりますが、本訪問にあたり、お忙しい中、参加者との窓口を務めていただいたEWE理事の長谷川様、実体験にもとづく貴重なお話とQ&Aのお時間をお取りいただいた吉田様・高橋様、わかりやすいご説明を頂いた品川ショールームの方々、また、このような機会を設けていただいたEWEを支えてくださっている諸先輩方に心より感謝を申し上げます。

情報理工・情報通信専攻 博士1年 杉山歩未（菅原研究室）

EWE活性化委員会2016年度活動報告

10年目を迎えた活性化委員会の活動を報告します。

●会員アドレスの収集

2017年1月末現在の登録アドレス数は約6000件です。

●EWEウェブニュースの配信

- ・2016年1月～12月の1年間で31件のニュースを配信しました。内容は、シンポジウム等の案内1件、EWE活動関連10件、大学関連2件、ヘッドラインニュース10件、随筆4件、その他寄稿4件

●活性化委員会企画主催 EWE先輩との交流会

開催日：2017年2月2日（木）

講演会場：西早稲田キャンパス63号館2階第3・4・5会議室、参加企業35社、2省庁電気系の学生を中心に学部、修士、博士の学生計178名が参加しました。

懇親会：講演会後、63号館1階で145名の参加者が先輩との交流の機会を持ちました。

配布資料：参加企業で活躍中の若手先輩から学生宛のメッセージを掲載した小冊子を1月に作成し教員に配布した後、当日参加者に配布しました。

●企業見学会

2016年10月28日、スカパー JSAT横浜衛星管制センターにて衛星管制技術について貴重な見学をしました。参加者：8名

●海外大学院留学説明会の支援

2016年12月22日、西早稲田キャンパスで開催。海外留学を目指す理工の学生の為に、米国大学院学生会と協力し、早稲田大学出身の米国留学生による説明会及び懇談会の支援を理工学術院及びEWEの協力のもとに行いました。講師5名、参加者：約100名、留学経験を基にした講演と活発なパネルディスカッションが行われ、盛会でした。

●講演会

スケジュールの調整が困難であったため2016年度の開催を見送り、2017年4月以降に開催することとしました。

活性化委員会メンバー

下村 尚久	1960通	高橋 弘	1960電	*三木博之	1962通	尾崎 肇	1962電
大附 辰夫	1963通	中村 耕造	1963通	矢幡 明樹	1964電	本多 正己	1965電
吉野 武彦	1966通	穴澤 健明	1967通	小野 沢純一	1971電	鳥居 司郎	1980通

*委員長

(卒業年次順)

活性化委員会設立と活動に貢献された委員

種市 健	1959電	田中 良一	1963通	太田 健一郎	1963通	石川 宏	1965通
小泉 金之助	1965電	杉原 鉄夫	1966通	原口 昂夫	1967電	小菅 康晴	1970通

見学会報告

スカパー JSAT横浜衛星管制センター



2016年10月28日にスカパー JSAT横浜衛星管制センターを見学させていただき、衛星管制の技術について貴重なお話を伺ってまいりました。普段見ることのできない衛星管制の現場を知ることができ、非常に有意義な経験となりました。

まず、管制センターの役割として、衛星の健康状態を監視することと、通信衛星が静止軌道から外れないようにコントロールすることが挙げられます。通信衛星は衛星多チャンネル放送のほか、防災情報や海外との通信、洋上での通信に用いられており、常に正常に動作するようにしなければなりません。そのために24時間体制で衛星を監視し、異常はないか、正しく動作・送受信できる姿勢になるように制御しています。

上述のように重要なインフラである衛星通信をいかなるときも停止させないために、様々な災害対策が講じられています。管制センターの建築に当たっては磐石な土地を選定し、停電時に備え自家発電機を複数用意しています。さらに、副局として茨城県や山口県にも管制センターを設置し、局地的な災害にも対応できるようにしています。

また、見学会後に行われた懇親会では、EWEの先輩方からエンジニアについて貴重なお話を伺うことができました。社会で使われている技術は全て基礎の上に成り立つ応用であり、大学生活を通して得るものが必ず生きてくることを改めて認識しました。

最後に、本見学会のために貴重な時間を割いてくださいましたスカパー JSAT株式会社の皆さま、企画してくださった皆様に感謝申し上げます。まことにありがとうございました。

EWE三月会2016年度活動報告

1950年に発足した当会は昨年で66年目を迎えました。基本的に毎月第三月曜日に開催しています。2016年度は講師の都合や天候などによる中止と延期があり、下記のように9回の講演会を開催しました。毎回、熱心な方々が参加して活発な質疑応答がありました。最も盛り上がったのは、西原元総長による12月例会でした。

- 1月例会：シンクロトン放射光を用いた原子レベルの微量元素解析：山本 知之先生
早稲田大学 基幹理工学部 電子物理システム学科 教授
- 2月例会：首・肩こり、目の疲れ、頭痛、脳内静脈の心臓への
100%還流等：加藤 信世先生
あかり医院 院長
- 3月例会：大量導入に向けた太陽光発電システムの価値向上技術：若尾 真治先生
早稲田大学 先進理工学部 電気・情報生命工学科 教授
- 4月例会：プログラムの信頼ネットワークとその適用：菅原 俊治先生
早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 教授
- 5月例会：早稲田大学重点領域研究 “医療レギュラトリーサイエンス研究所の創設”
はなぜタイムリーなのか？：梅津 光生先生
早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 教授
- 7月例会：たかが、水、されど水 ～水の本質に迫る～：杉原 淳先生
杉原科学技術研究所 所長
- 9月例会：台風接近のため延期
- 10月例会：日本のソフトウェア品質や生産性は高いのか？低いのか？：鷺崎 弘宜先生
早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 教授
- 11月例会：ヒトの技能や心身機能を拡張する
人間支援ロボットテクノロジー：岩田 浩康先生
早稲田大学 創造理工学部 総合機械工学科 教授
- 12月例会：中国における早稲田大学：西原 春夫先生
早稲田大学元総長



2016年12月忘年会風景

まだ当会をご存知ない方も多いようなので、以下にEWE三月会の概要をご紹介します。

〈会員資格〉

早稲田電気工学会会員、及び会員の紹介で入会を希望され幹事会で承認された方

〈開催場所〉

日比谷市政会館（日比谷公会堂建物裏側、入口は国会通り側）、5階 第1会議室

〈定例開催日〉

毎月第三月曜日（祭日の場合は翌日）、18～20時

〈費用〉

年会費2,000円、参加費（その都度）2,000円（茶菓子付）

（勉強会後には講師の先生を囲んで懇親会を近くの居酒屋にて会費3,000円程度で開催）

2017年度も各分野で活躍されている第一線の先生方をお招きしてお話を伺う予定です。

毎回15～20名程度の少人数ですから、先生との質疑応答も和やかな雰囲気の中で自由闊達な議論が展開されます。こうした機会は退職してしまうと、なかなか無く、とても貴重だと思いますので、まだ参加されたことがないEWE会員の方も大歓迎です。

一回目は無料でご招待致しますので、下記メール宛てのご連絡をお待ちしております。

EWE三月会幹事・事務局 唐澤 豊（昭和45年電気） 記
メール：ewesangetsukai@gmail.com

学生部会報告

研究室対抗ソフトボール大会

2016年11月2日（水）、EWE主催の研究室対抗ソフトボール大会が昨年度と同様、江戸川の河川敷にて開催されました。参加チーム数は42チームと過去最大となり、それに伴い、野球場とソフトボール場計14面を借り切る大規模な大会となりました。この大会は日頃研究に没頭されている先生方や学生にとって汗を流す貴重な機会であり、ソフトボールを通して研究室内外の親交を深めることのできる、またとないチャンスです。

試合は午前9時から開始されました。朝早くのスタートにもかかわらず、それぞれのクラウンドには数多くの人が集まり、声援や笑い声が絶えず聞こえてくるほど盛り上がりを見せていました。研究室ごとに特徴があり、楽しく運動したいというチーム、ユニフォームを揃えて一体感を感じるチームや、優勝を目指して日頃から練習に勤しんでいるチームなど研究室ごとに楽しみ方は様々でした。

午前の試合が終了すると、弁当とお茶が配られ、あちらこちらで集まり、共に戦った仲間や対戦相手など、チームの垣根を越え食事を楽しむ姿が見受けられました。

午後の試合は午前中に勝ち残ったチームによる決勝トーナメントになります。優勝を目指す強豪がしのぎを削り、練習の成果を遺憾無く発揮していました。決勝戦ではチームの声援や捕手がボールを取る音まで聞こえてきていて、選手はもちろん、ベンチも活気に満ち、研究室全体が優勝を目指しているように感じました。残念ながら午前中で敗退してしまっ



優勝した若尾研究室のみなさん

たチームも練習試合を行い、研究室同士の親睦を深めていました。激戦を制し、本年度の優勝を果たしたのは「若オッパピース」でした。おめでとうございます。

最後に、本年度も無事に運営できたことを嬉しく思うと同時に、EWE学生委員を支援くださった事務局の中村様、学生の皆さんに感謝いたします。また、参加して頂いた先生方、学生の方にお礼を申し上げます。来年も素晴らしい大会になるよう願っています。

2016年度修士論文一覧

<電気・情報生命専攻>

- 石山 敦士 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/ishiyama/>
 伊澤 俊 インターネット依存傾向に相関する安静時脳機能的結合指標の抽出
 柏崎 裕司 超電導電力貯蔵装置の高貯蔵密度化のためのコイル高機械強度化に関する研究
 勝俣 一輝 無絶縁REBCOパンケーキコイルの過渡安定性に関する研究
 刀川 賢太 デフォルトモードネットワークの波形推定に基づくインターネット依存症の診断補助手法の提案
 中園 浩平 MRI用高温超電導コイルにおける遮蔽電流に起因する不整磁場の低減
 日向野 将 HTS-SQUIDを用いた左心室肥大検出法の検討
 安井 鉄郎 66kV級長尺高温超電導ケーブル実用化に向けた短絡事故時における冷却特性評価
 安田昌太郎 小動物心磁図の統計解析に基づく右心室肥大検出法の提案
- 井上 真郷 研究室 <http://www.inoue.eb.waseda.ac.jp/>
 宇山 慧佑 RGB-DセンサによるPoint Cloudデータのスパース表現を用いたリアルタイムトラッキング手法の開発
 江上 正也 RVMを用いた特定地域における台風の進路推定
 大田黒 健 楽曲の繰り返し構造を考慮したキャッシュモデルによる和音進行予測
 笠原 勇布 スパースモデリングを用いた複数コイルMR画像再構成
 草間 豪雄 可変長階層Pitman Yor過程を用いた用途別文書テンプレート自動生成
 古賀 溪太 TD-PSOLA法とVAを用いた歌声の音程改善処理手法の研究
 園田 祥平 1次元畳み込みニューラルネットワークによる特徴抽出を用いた話者識別法
 乗松 佑昌 Zoneoutを適用したDRNNによるモノラル音源分離
- 岩崎 秀雄 研究室 <http://www.waseda.jp/sem-iwasakilab/index.html>
 加藤 久貴 運動性シアノバクテリアPseudanabaena sp. ILC 545の集団形成メカニズムの解明に向けて
 川崎 洗司
 河本 尚大
 菊地 智弘
- 岩本 伸一 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/iwamoto/>
 石川 綾乃 PV大量導入時における発電機出力を考慮した無効電力制御機器に関する研究
 市原 美樹 PV出力の急峻変動を考慮した確率的状態推定手法に関する研究
 柿阪 博登 過渡安定度における判別分析を用いたオンラインN波脱調予測手法に関する研究
 五味 知幸 電圧先行制御におけるPV予測精度を考慮した制御起動電圧変更手法に関する研究
 貞川 智美 過渡安定度解析におけるテイラー級数展開と時間領域等面積法の応用に関する研究
 森屋 志政 風力発電大量導入時における能動的外乱除去制御を用いた負荷周波数制御に関する研究

山ノ内 翔 電力系統における設備稼働率等を踏まえた流通設備構成スリム化に関する研究

内田 健康 研究室 http://www.uchi.elec.waseda.ac.jp/index_j.html

明石 百佳 敗血症数値モデルの臨床応用
 門田 玲 レプチンの糖代謝への効果を含む 1 型糖尿病数値モデルの構築
 小林 周平 協調行動を用いた車線変更システムの構築
 坂田 健吾 電力市場を介した動的ゲームに基づく電力網制御
 佐藤 遼 非ホロノミックな球体型移動ロボットのフォーメーション制御
 米田 賢史 製鋼プロセスにおけるクレーン物流システムのモデル化と最適スケジューリング

大木 義路 研究室 <http://www.f.waseda.jp/yohki/>

池野 理沙 ケミルミネセンス測定による高分子絶縁材料の酸化評価
 小高 大祐 テラヘルツ分光による高分子材料の構造解析～結晶化、架橋、劣化の影響、および添加剤との相互作用～
 黒田 康裕 高誘電率絶縁材料 YAlO_3 のテラヘルツ周波数帯における吸収特性
 杉山 勇輝 量子ドットを用いたV溝バイオセンサーによるノロウイルスのウイルス様粒子の検出
 鈴木 優太 AlN マイクロファイラーおよび SiO_2 ナノファイラーを単独あるいは共添加したエポキシ樹脂における電気特性
 七尾 洋介 光学測定と量子化学計算によるポリエチレンテレフタレート分解機構の解明
 花田 脩伍 熱および放射線劣化がシリコーンゴムの機械特性に与える影響と劣化機構の関連
 宮本 真希
 CAO, Di Improvement of Dielectric Performance of Epoxy- Al_2O_3 Microcomposite by the Addition of Al_2O_3 Nanofiller

岡野 俊行 研究室 <http://www.okano.sci.waseda.ac.jp/>

有澤 雄大 計算生物学的手法によるニワトリクリプトクロム4の構造と機能の予測
 大嶋 拓哉 温度依存的に親和性が変化する抗原-抗体反応を利用したタンパク質動態の解析
 兜森 椋 月周期性産卵魚類ゴマアイゴの脳内時計遺伝子発現に月光が与える影響
 小太刀佐和 トラフグ眼球細胞における遺伝子発現の光誘導とその分子メカニズム

胡桃坂 仁志 研究室 <http://www.kurumizaka.sci.waseda.ac.jp/>

謝 炎 新規マウスヒストンバリエーションを含むヌクレオソームの生化学的解析および構造生物学の解析
 関根 慧 DNA損傷認識タンパク質53BP1の生化学的解析
 田中 大貴 FOXA1-標的ヌクレオソーム複合体の生化学的解析
 野田真美子 がん細胞で高頻度に見られるヒストン点変異体を含むヌクレオソームの生化学的・構造生物学の解析

小林 正和 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/kobayashi/>

鬼界伸一郎 AgGaTe_2 薄膜の光学的特性評価と薄膜内の副生成物が光学的特性に与える影響

末次 由里 太陽電池用電極構造の改善

柴田 重信 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/shibata/>

- 鎌形 真世 グルココルチコイドを用いたマウス末梢時計同調能力にClock変異が与える影響の検討
- 田中 瑞穂 朝食および夕食におけるタンパク質摂取パターンが代償性筋肥大に及ぼす影響に関する研究
- 服部 雄太 食事の内容と運動の組み合わせがマウス大腿骨の乾燥重量と骨体積率に与える影響の検討
- 三澤憲一郎 カフェインおよびコーヒーの摂取時刻の違いが抗肥満および糖・脂質代謝に及ぼす影響
- 山崎 まゆ 腸内環境の変化がマウス概日時計に及ぼす影響
- 和田 美咲 交感神経活性化による時刻依存的なマウス唾液中IgA濃度n増大機構の解明

宗田 孝之 研究室

- 尾島 友太 色順応変換を用いた爪部メラノーマ鑑別指標値の標準化の検討
- 加藤 大貴 マイクロキャビティ構造における励起子と光の相互作用
- 神田 淳貴 熱処理による残留指紋成分の変性機序—メイラード反応—
- 豊永 健太 爪部悪性黒色腫の客観的かつ定量的な自動診断システムの検討
- 肥後 基之 熱処理による残留指紋成分の変性機序—アミノ酸の脱水重縮合—
- 朴木 達也 ゲーモスコピーと機械診断を組み合わせた掌蹠色素病巣の診断法
- 山本 一真 粘着テープに潜在する指紋の顕在化

高松 敦子 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/takamatsu/Welcome.html>

- 宇都宮祥平 個の多様性がアリの協同運搬に与える影響
- 奥野 純平 真正粘菌変形体の採餌における行動戦略とその機構の解析
- 佐藤 隆巧 シアナバクテリアの生息範囲内でのCometコロニーの役割
- 吉次 なぎ ゼブラフィッシュの概日リズムにおける光応答機構の数理研究

浜田 道昭 研究室

- 宇恵野雄貴 がんゲノムからの変異シグネチャーのモデル選択
- 高津 雄太 塩基対確率行列と塩基配列を用いたNon-coding RNAの分類
- 西田 新平 計算と実験のデータを用いたRNAのWatson-Crick型塩基対に対する自由エネルギーパラメータ推定手法
- 横田 彩 HT-SELEX実験データを用いたアプタマー候補配列選択ステップの最適化

林 泰弘 研究室 <http://www.hayashilab.sci.waseda.ac.jp/hayashi/>

- 池田 欧世 太陽光発電・風力の大量導入時における調整用発電機の出力分担値の多目的評価に関する研究
- 須藤 慧 電力システム改革の30分値同値同量制度におけるインバランス料金単価予測手法に関する研究
- 高野 彰久 地域冷暖房システムによる系統貢献運用の評価手法に関する研究
- 高橋 由佳 機械学習的アプローチに基づく系統エリアを対象とした風力発電ランプ予測に関する研究
- 松本 直也 電力負荷平準化に寄与する家庭用燃料電池と家庭用蓄電池の集中管理手法に関する研究
- 松本 眞子 機器別消費電力推定の実現に向けた行列分解技術の応用の研究

- 森 皓平 HEMS/GEMS協調運用による配電系統電圧制約を考慮したEV充放電計画決定手法に関する研究
- 牧本 俊樹 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/makimoto/>
 谷口 龍希 GaAsN系p+n+nトンネル接合ダイオードを用いたキャリアの有効質量に関する研究
 畑 泰希 RF-MBE法を用いたGaN成長の高品質化に向けたAlONバッファ層に関する研究
 山崎 隆弘 RF-MBE法を用いたグラフェン上への超ワイドギャップ半導体結晶成長の研究
 山根 陽美 半導体量子井戸からのPL発光の電界依存性に関する研究
 山根 悠介 RF-MBE法を用いたサファイア基板上へのGaN二段階成長に関する研究
- 村田 昇 研究室 <https://www.murata.eb.waseda.ac.jp/>
 石渡 太智 u-Mixture Modelを用いた衛星動画の時間超解像
 岩崎 良 距離学習と最近傍法を用いた量子化学計算手法の自動選択
 嶋田達之介 転移学習における学習器のスタッキング
 奈良寧々花 非負値行列分解の情報幾何
 村上 祐磨 Nonnegative Tucker Decompositionを用いたポットネット検知システムの構築
 渡邊 隼人 k 近傍のブートストラップ分布に基づく外れ値検定
- 若尾 真治 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/wakao/>
 新井 拓馬 グリーン基地局における蓄電池併設型太陽光発電システムの最適運用方法の検討
 糸川 奈穂 翌日PV発電出力における10秒単位変動の信頼区間推定手法に関する検討
 桑原 宏幸 導体シールド付き車軸検知装置の多目的最適化設計
 中川 悠 面要素有限要素法を用いた三次元磁界解析に関する基礎的検討
 廣野 数樹 二次元レベルセット法と三次元磁界—熱連成FEMの併用による誘導加熱ロール鉄心の最適化設計
 星野玲央奈 トポロジー最適化の実現に向けたレベルセット法の拡張に関する検討
 丸山 裕也 機器内の導電性材料を対象としたレベルセット法による最適化設計
 谷内優一郎 太陽光発電システム大量導入地域における予測情報に基づいた蓄電池群制御方法の検討
- HIGHTMAN, Alison karinen Demand Response and Battery Management for Smooth Integration of Photovoltaic(PV) into Residential Community Transmission Grid
- 渡邊 亮 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/watanabe/>
 小林 龍真 熱間仕上圧延における空間分割温度モデルの構築
 高橋 康太 段階的な最適化計算による鉄道乗務員スケジュールの自動作成
 玉田 渉 振動抑制と電力回収を両立する船舶の振動制御系の設計
 永井 孝典 船舶の曲線に対する経路追従における位置予測モデルの適用
 藤江 篤史 MRダンパーを有した車両に対する H_{∞} セミアクティブ振動制御
 堀内 秀祐 EVにおけるシート、ステアリングヒーターによる消費エネルギー抑制と快適性維持
 山口宗一朗 EV用空調システムにおける多目的最適化

<情報理工・情報通信専攻、情報理工学専攻*>

- 石川 博 研究室 <http://hi.cs.waseda.ac.jp/index.php/ja/>
 深野 昂祐 高階エネルギー最小化による1枚の球面画像からの部屋構造推定
- 上田 和紀 研究室 <http://www.ueda.info.waseda.ac.jp/index-j.html>
 吉元 佑介 グラフ書換え言語LMNtalにおけるグラフ型検査およびルール型保存性検査
- 笠原 博徳 研究室 <http://www.kasahara.cs.waseda.ac.jp/>
 川島 慧大* OSCAR API標準解釈系を用いた階層グルーピング対応ハードウェアバリア同期機構の評価
 五十公野克彦 車両エンジン制御プログラムの自動並列化及び高速化に関する研究
 桑島 昂平 OSCARコンパイラを用いた医療動画像アルゴリズムの自動マルチグレイン並列処理
- 丸岡 晃 LLVMを用いたOSCARベクトルマルチコアコンパイラの開発
 山本 康平 データ多次元整合分割による自動マルチコア・ローカルメモリ管理手法
- 甲藤 二郎 研究室 <http://www.katto.comm.waseda.ac.jp/>
 竹中 幸子 通信速度変動を考慮した消費電力推定モデル及び省電力映像配信システムの提案
 原田臨太郎 MPEG-DASHを用いた8K放送番組再送信プラットフォームにおける映像配信品質に関する検討
 安田龍一郎 Stacked Autoencoderを用いた和音認識
 NGO, Thang quang Mobility Support for Content-Oriented Publish/Subscribe System
- 亀山 渉 研究室 <http://www.km.comm.waseda.ac.jp/>
 李 炎坤 スパースコーディング基底の最適化と類似性を考慮した画像特徴量抽出に関する研究
 SJAMSUDIN, Felix putra EEG-based Authentication with Machine Learning
 SAPUTRA, Mario Image Similarity Estimation based on Relevance Feedback using Eye Information
- 木村 啓二 研究室 <http://www.apal.cs.waseda.ac.jp/>
 小野口達也 大規模システムを想定したGem5シミュレータの階層的インターコネクションネットワーク拡張
 細川 雄平 OSCARコンパイラによるソフトウェアキャッシュコヒーレンシ制御及び重粒子線がん治療のための線量分布計算ソフトウェアの自動並列化
 無州 祐也 ベクトルアクセラレータを持つマルチコアアーキテクチャの評価環境構築と性能評価
- LAU, Tuong phi Research on Power Efficient for Network Intrusion Detection System and Parallelization of Vulnerabilities Analysis in Web Applications
 BUI, Binh duc Android Power Consumption From Two Different Approaches
 HAN, Ji Xin Reducing Parallelizing Compilation Time by Removing Redundant Analysis
- 後藤 滋樹 研究室 <http://www.goto.info.waseda.ac.jp/index-j.html>
 久保 佑介 スпамメールの時系列変化に適応する悪性メール分類法

- 佐藤 拓未 Word Vectorを用いた亜種マルウェア判別法
 篠宮 一真 ハニーボットを用いたDRDoS攻撃検知法
 仲山 裕也 推定確率を用いた段階的なマルウェアの分類
- 小林 哲則 研究室 <http://www.pcl.cs.waseda.ac.jp/>
 森岡 幹 少量データのためのニューラルネットワーク言語モデル
 神崎 卓丸 脳波による音節認識
 福岡 維新 発話系列を扱った会話音声合成
 斎藤 奨 Crowd-Powered Condition Monitoring System Framework Enabling Early Stage Deployment
- 酒井 哲也 研究室 <http://www.f.waseda.jp/tetsuya>
 飯島 聡美 協調型ヘルスケア—睡眠習慣改善における人間関係と協調—
 門田見侑大 クリックに基づく選好グラフを用いたパーティカル適合性推定
 出縄 弘人 Self Collaborative Search System : 人—システム間協調検索の提案と評価
- 佐藤 拓朗 研究室
 Zin ko ko win
 QI, Xin
 Phyu sin nyein
 若菜 実農
 KAYOKA, Monte simon
 NOORZAD, Ahmad najim
 FOUSHANJI, Pariwash
- 嶋本 薫 研究室 <http://www.sl.comm.waseda.ac.jp/?lang=ja>
 片岡 愛 Study on Active-Site-Diversity using Aircraft for Satellite to Earth Optical Wireless Communication
 CHEN, Tao UE RF Condition Estimation ussing Machine Learning
 CHENG, Yicheng Study on Optical-RF Hybrid Wireless Access Scheme
 稲田 輝 Study on Field Experiment for Visualization of Radio Signal with UAV
 SHRESTHA, Pratikshya Back-off semimarkovian model for ad hoc networks
 LIU, Zhi bo UAVシステムにおける赤外線を用いた障害物検出方式
- 菅原 俊治 研究室 <http://www.isl.cs.waseda.ac.jp/lab/>
 荒木 大輔 トピックモデルを用いた人狼ゲームの会話に基づく役職別のプレイヤ推定法
 石川 直樹 スマートグリッド上における参加家庭の売買戦略の学習
 大阪 健吾 ソーシャルネットワークワーキングサービスにおける直接互恵性の効果
 川口 竜太郎 デッドライン付きタスクを対象とした効果的なチーム編成の実現
 YEH, Chia-Wei Solving Dynamic Coalition Problem with Double-Layered Ant Colony Optimization
- 高畑 文雄 研究室 <http://www.takahata.comm.waseda.ac.jp/>
 加藤 輝 LR-SE-VPにおける演算特性に関する研究
 佐藤 裕明 フェージング環境に適應する繰り返し伝搬路推定法に関する研究
 永田 裕之 GPS/準天頂衛星複合測位システムにおける単独測位の測位精度改善に関する研究

- 田中 良明 研究室** <http://www.tanaka.giti.waseda.ac.jp>
 WERDA, Wafa Cost Analysis and Pricing of Macro-Femto Heterogeneous Networks
 坂口 友彬 アドホックネットワークにおける信頼性制御方式の提案と評価
- 戸川 望 研究室** <http://www.togawa.cs.waseda.ac.jp/>
 井川 昂輝 遅延ばらつきを考慮したフロアプラン指向高位合成手法に関する研究
 伊東 光希 フィールドデータ抽出器のための効率的なマルチプレクサ回路構成に関する研究
- 北山 遼育 低電力IoTデバイスに対する不正改変検知装置の設計に関する研究
 島崎 健太 Content Centric Networkingルータのための探索回数削減を可能にする
 Forwarding Information Baseに関する研究
- 鮑 思雅 Personalized Safe and Comprehensive Route Recommendation for
 Pedestrians Based on Lighting and Landmark
- 長谷川健人 機械学習を用いたハードウェア設計段階におけるハードウェアトロイ識別
- 中里 秀則 研究室** <http://www.nz.comm.waseda.ac.jp>
 Win poh poh Window Based Flow Control in Content Centric Network: Bayesian
 Approach
 Theint theint myo Cache Consistency: Lease
 AMBULL, Alloys michael Mobility Management in Information Centric Networking
- 中島 達夫 研究室** <http://www.dcl.cs.waseda.ac.jp/>
 WU, Cheng-han Clotho Friend: A Wearable Display To Improve Efficiency In Making Friends
 DING, Lei ソーシャルゲームを用いた潜在的な教育効果分析
 池内 弘樹 許可制ブロックチェーンと既存分散データベースとの性能・実装・運用比較
 石沢ふみ子 Extracting Intermediate Level Knowledge for Speculating Digital-Physical
 Hybrid Reality Experience
- 小林 明弘 学習を目的とした教育 シミュレーション型シリアスゲーム 構築のためのフ
 レームワーク
- 神保 貴昭 表情投影アバターを用いたチャットによる日常会話への動機付けに関する
 研究
- 鶴川 純一 AR空間の積層化をベースとする情報整理とインタラクション手法
- 深澤 良彰 研究室** <http://www.fuka.info.waseda.ac.jp/>
 阿部 晃佑 開発委託先変更に対するソフトウェアの複雑さ・不具合修正回数に関する
 研究
 片江 将希 階層離散制御器合成によるマルチロボットシステムの仕様生成に関する研究
 田邊 萌香 自己適応システムのための実行時環境モデル学習に関する研究
 鶴貝 康男 合成サービスを用いたソフトウェアの潜在要求発見の支援手法に関する研究
- 前原 文明 研究室** <http://www.waseda.jp/sem-maehara/>
 岡 真悟 無線稠密環境への適応可動APシステムの適用に関する研究
 山口 隆裕 誤り訂正を考慮したMU-MIMOの理論ビット誤り率の導出法に関する研究
 CHEN, Chih-Wei A Research on implementation, optimization and equalization over FBMC/
 OQAM transmission

- 松山 泰男 研究室** <http://www.wiz.cs.waseda.ac.jp/>
 白神 健瑠 ニューロフィードバックによる運動想起型BMIの効果的な訓練手法の研究
 松本 正伸 二又構造の畳み込みニューラルネットワークを用いた文章間の意味的類似度測定法の構築と評価
 渡辺 健人 人物領域の時系列変化を用いた人物動作認識システムの構築
- 森 達哉 研究室** <http://nsl.cs.waseda.ac.jp/>
 石井 悠太 世界各国のAndroidサードパーティーマーケットのセキュリティに関する調査
 芳賀 夢久 Webトラッキング検知システムの構築と100万サイトの大規模調査
 原田 敏明 中継トラフィックデータの類似性に着目した悪性Wi-Fiアクセスポイントの検出
 守屋 潤一 標的型攻撃の被害者となる人物の特徴と予測
- 柳澤 政生 研究室** <http://www.myanagi.cs.waseda.ac.jp/>
 田島 咲季 低電力高速なソフトウェア耐性を持つラッチ回路設計に関する研究
- 山名 早人 研究室** <http://www.yama.info.waseda.ac.jp/>
 CHANDRA, Pritesh Improving Survey Response and Completion Rate with User Experience
 石巻 優 完全準同型暗号を用いた秘匿ゲノム検索
 石山 雄大 オンライン学習を用いたアクティブ認証の実現—スマートフォンを対象として
 今林 広樹 完全準同型暗号による安全頻出パターンマイニングの省メモリ高速化
 下岡 純也 スマートウォッチにおけるタップ動作の少ない仮名文字入力手法
 篠原 正太 ニューラルネットワークを用いた系列ラベリングによる単語分割手法
 MAGAMBO GATETE, Elie Predicting user reaction to recommended items in job advertisement
- 鷲崎 弘宜 研究室** <http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/>
 青木 耀平 Identifying and Handling Misalignment of Goals and Strategies across Organizational Units
 伊藤 佳衣 A Pattern Language for Handovers
 西川 和輝 Recovering Transitive Traceability Links among Various Software Artifacts for Developers
 CHI, Jieming Defect Analysis and Prediction by Applying the Multistage Software Reliability Growth Model
 HARLIN, Ismail rizky Impact of Using Static-type System in Computer Programming
 LI, Juhua Promotion of Educational Effectiveness by Translation-based Programming Language Learning Using Java and Swift
- 渡辺 裕 研究室** <http://www.ams.giti.waseda.ac.jp>
 ZHANG, Yifei Research on Trajectory Visualization of Ego-Motion Videos with Pedestrian Based on Monocular Visual Odometry and Machine Learning

＜電子物理システム学専攻＞

- 宇高 勝之 研究室**
 浅川 奨 高速・偏光無依存マッハツェンダ型光スイッチに関する研究
 大野翔太郎 カーボン系材料埋め込みスロット導波路の作製及び特性評価

木村 優一 3次元光インターコネクション用ポリマー光スイッチの研究
 ジョ イツロク 量子ドット半導体光増幅器の超高速光再生デバイスへの適用の検討
 藤原 裕士 小型広波長域動作多モード干渉導波路型Si光スイッチの検討
 三橋 頼人 曲線型方向性結合器を用いたリング共振器型波長選択光フィルタの偏光無依存性の検討

川原田 洋 研究室 <http://www.kawarada-lab.com/index.html>

牛 俊雄 Cascode構造を用いたノーマリオフダイヤモンドp-FETの作製及び動作特性
 斎藤 俊輝 縦型C-HダイヤモンドMOSFETの構造検討と特性評価
 林 佑哉 Diamond表面終端構造とMBE法によるAINの結晶性および電気特性評価
 松村 大輔 ダイヤモンド上ALD-Al₂O₃の電氣的絶縁性の評価および空間電荷制御制御電界放出モデルを用いた膜内電荷評価

木村 晋二 研究室 <http://www.waseda.jp/sem-vlsi/>

青木 晃平 不揮発メモリに基づくFPGAの配線再構成時の書き換えスイッチ削減に関する研究
 泉澤 宏樹 順次積層技術を用いた三次元回路の自動分割に関する研究

小山 泰正 研究室 <http://www.koyamalab.sci.waseda.ac.jp/>

中川 雅也 Zn-Mg-Y合金における三次元準結晶とZn₂₃Y₆構造の結晶学的相関
 野元 将志 マルチフェロイクス物質Bi_{1-x}Sm_xFeO₃に出現する反強誘電状態
 山形 弥里 強相関電子系Mn酸化物Sr_{1-x}Sm_xMnO₃における軌道整列状態

史 又華 研究室 <http://www.islab.cs.waseda.ac.jp>

杉田 一馬 加振機を用いた圧電素子の測定評価及び圧電素子によるエネルギーハーベスティング回路設計に関する研究

庄子 習一 研究室 <http://www.waseda.jp/sem-shoji/>

金田 達志 低分子有機半導体接合を用いた次世代有機EL作製技術
 小林 直史 液体有機電界発光素子を用いた白色照明及びディスプレイデバイスへの展開
 中西 完貴 液体クロマトグラフィカラムとポストカラムミキサーの集積化マイクロチップ

谷井 孝至 研究室 <http://www.tanii.nano.waseda.ac.jp/>

和泉 聡志 金属ナノホールアレイを用いた1分子蛍光イメージングに関する研究-酵素によるDNA切断の1分子観察
 高田 知幸 構造ヘルスモニタリングのための層間変位計測システムの開発
 竹内 祐子 がん/正常細胞選別のためのマイクロ加工基板の作製と評価
 長島 正幸 構造ヘルスモニタリングのための層間変位と局部回転角の同時計測法の開発
 東又 格 単一NVセンターの配列形成とダイヤモンド表面の水素核スピン計測
 藤城 翔偉 RFマグネトロンスパッタを用いた可視光応答性酸化チタン薄膜の作製と評価
 藤森 壮也 マイクロパターン上に形成した少数個の細胞から成る神経回路の自発発火に関する研究
 矢野 真麻 エルビウム添加MOSトランジスタの作製とその特性評価

柳澤 政生 研究室 <http://www.myanagi.cs.waseda.ac.jp/>

石塚 祐貴 RGB-Dカメラを用いた高精度計測に関する研究

- 大澤 快人 小型UAVを用いた屋内環境における自己位置推定手法に関する研究
 岸本 耀 カメラを用いた自己位置推定手法における動作安定性向上に関する研究
 小山 亮平 リストバンド型筋電センサを用いた手首動作の識別及び握力の推定に関する研究
 藤本 信 ハンドグリップ動作時の血流速度による生体の動作解析に関する研究

- 山中 由也 研究室 <http://www.yamanakalab.sci.waseda.ac.jp/>
 大南 武尊 非一様Fermi系における対束縛状態の解析
 北原 康貴 混合冷却におけるBose-Einstein凝縮体の成長過程の解析
 小山 輝 散逸Gross-Pitaevskii方程式を用いたボラリトンBose-Einstein凝縮体の研究
 小山 貴士 ゼロモードを取り入れたBose-Einstein凝縮体の緩和現象の定式化
 鳥居 優作 三次元有限温度系ゼロモードの解析
 新戸部裕隆 Spiking Neural Networkを用いた運動野内神経活動データの学習
 檜垣 亮佑 虚時間発展法によるGross-Pitaevskii方程式に対する数値計算の高速化
 三浦 丈昇 光学格子中の流れのある二成分凝縮体に対する動的不安定性の摂動解析

- 山本 知之 研究室 <http://www.cms.sci.waseda.ac.jp>
 長田 豊 LaGaO₃の酸素イオン伝導率へのFe, Coの添加の影響
 鎌田 暁久 希土類元素添加BaBiO₃のBiサイト局所環境解析を用いた結晶構造解析
 平田 誠 高精度第一原理計算を用いたワイドギャップ機能的酸化物の電子状態評価
 増田 晃一 Pr_{0.7}Ca_{0.3}CoO₃の電子状態及び結晶構造へのY添加の影響
 村井 智哉 X線吸収端近傍構造によるATiO₃(A=Ca,Sr)におけるMnの固溶サイト評価
 元木 啓介 軟X線照射に対するCH₃NH₃PbI₃ペロブスカイト太陽電池の耐性評価

- 吉増 敏彦 研究室 <http://www.f.waseda.jp/yoshimasu/>
 笹原 樹 新規制御回路を用いたマイクロ波帯C級LC発振器ICに関する研究

- 渡邊 孝信 研究室 <http://www.watanabe.nano.waseda.ac.jp/>
 麻田 修平 Siナノワイヤ構造を用いた微小な熱電発電デバイスに関する研究
 臼田 稔宏 画像線分情報に基づくSLAM技術の開発
 小花 絃暉 Niイオン照射によるSi(111)表面改質素過程及び高分子ナノコンポジット材料のSTM観察
 功刀 遼太 分子動力学計算によるhigh-k/SiO₂界面における酸素イオン移動の駆動力に関する研究
 小出 隆太 Siナノワイヤの表面構造が熱伝導率に及ぼす影響に関する研究
 重松 直哉 飛行時を想定した羽ばたき型UAVの揚力及び推力の風洞計測に関する研究
 白鳥 智大 重心移動機構を備えた羽ばたき型UAVの羽ばたき機構の開発
 堀 俊彦 多重光源画像による自動ひび割れ検出を目的とした画像処理手法に関する研究

＜ナノ理工学専攻＞

- 川原田 洋 研究室 <http://www.kawarada-lab.com/index.html>
 北林 祐哉 高耐圧ダイヤモンドMOSFETのノーマリーオフ化と大電流密度化の検討
 柴田 将暢 2次元正孔ガスを利用したC-HダイヤモンドMOSFETの動作機構
 橋村 卓朗 ダイヤモンド電解質溶液ゲートFETの陽極酸化による閾値制御及びゲート固定電位法による評価

原 壮志 熱酸化SiO₂膜のダイヤモンド上における特性
 平野 優 4H-SiC上のカーボンナノチューブおよびダイヤモンドの成長
 FEI, Wenxi Growth of Diamond Nanocylinders with Porous Alumina Template and
 Diamond Film on 4H-SiC Substrate by Antenna-Edge Microwave Plasma
 Chemical Vapor

庄子 習一 研究室 <http://www.waseda.jp/sem-shoji/>
 鎌田 裕樹 圧電式環境発電素子の簡易作製と構造最適化
 小林 和博 積層マイクロ流体デバイスを用いた機能性マルチファイバーの作製
 謝 志敏 カスケードレールと液滴形状回復のドットレールを用いたマルチステージ
 サイズ依存の受動的ソーティングデバイス
 野村 和哉 サブミクロン金粒子の一括埋め込みによるI型構造TGV形成とその気密封止
 デバイスへの応用

渡邊 孝信 研究室 <http://www.watanabe.nano.waseda.ac.jp/>
 徐 泰宇 シミュレーションを用いたナノワイヤ型熱発電素子の設計に関する研究

<数学応用数理専攻>

大石 進一 研究室 <http://www.oishi.info.waseda.ac.jp/members/index-j.html>
 徳永 翔平 3次元空間におけるDirichlet境界値問題の定常解に対する精度保証付き数
 値計算
 浅尾 祐美 実対称行列に対する実用的な正定値性判定手法の開発
 若山 馨太 2次元凸包を用いた逐次添加法による精度保証付きDelaunay三角形分割の
 数値計算法
 西川 和彦 偏微分方程式の精度保証付き数値計算の際に現れる積分計算の高速化

柏木 雅英 研究室 <http://www.kashi.info.waseda.ac.jp/>
 田邊 至希 Affine Arithmeticにおける三角関数の近似方法について
 増池 乾人 端点に特異性を持つ関数の精度保証付き数値積分

<表現工学専攻>

及川 靖広 研究室 <http://www.acoust.ias.sci.waseda.ac.jp>
 井上 貴之 柔軟な指向性パターンを有する帽子型補聴システム
 小谷野雄史 Infinite-dimensional SVD for revealing microphone array's characteristics
 杉山 真望 回転非対称型の素子からなる音響メタマテリアルの解析
 鈴木菜穂子 多重極展開を用いた音源放射特性推定
 中村 歩己 共鳴管を持たないフリーリード楽器のモデル化
 山中 悠勢 高速1ビット信号処理を用いた音場創生のための大規模スピーカアレイシ
 ステム

卒業おめでとうございます 〈学部〉

〈電気・情報生命工学科〉

- 石山 敦士 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/ishiyama/>
 塚本 裕斗 市川 哲理 伊東 慶太 大城遼太郎 柿本 雄太
 藤井 忠賢 堀田 大智 武藤 優真
- 井上 真郷 研究室 <http://www.inoue.eb.waseda.ac.jp/>
 宮下 航輔 李 庭 郁 高品 佑也 原 雄大 三橋 響
 山田健太郎 山手 一将 横内 康平
- 岩崎 秀雄 研究室 <http://www.waseda.jp/sem-iwasakilab/index.html>
 飯塚 玲太 羽谷 慶汰 馬場 響子 早川翔太郎 保坂 菜摘
 山内 沙耶
- 岩本 伸一 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/iwamoto/>
 石河 紗季 佐藤 祐太 佐藤 諒一 林 直輝 溝端 悠大
 茂木 文哉 山本ひかり
- 内田 健康 研究室 http://www.uchi.elec.waseda.ac.jp/index_j.html
 田村 紘平 伊東 倫明 小澤 成貴 其田真之亮 中島 知己
 山岡 実夢 山中 悠裕
- 大木 義路 研究室 <http://www.f.waseda.jp/yohki/>
 阿部 裕 飯塚 亮太 遠藤 滉士 兼子 拓也 高森 悠圭
 中井 翠 藤嶋 大地
- 岡野 俊行 研究室 <http://www.okano.sci.waseda.ac.jp/>
 青木 友悟 伊山 祐介 清水 勇志 田中 瑞樹 辻 亮太
 福谷 和美 弓取 亮太 四元 愛理
- 胡桃坂 仁志 研究室 <http://www.kurumizaka.sci.waseda.ac.jp/>
 鈴木 洋平 焼広 侑季 池田 弘毅 高木 大輝 宅 佑奈
 永倉 亘 中村 萌 西村 正宏 藤野 優佳 星川 史佳
- 小林 正和 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/kobayashi/>
 笹原 宏希 竹内まりの 手島 修平 永井 航 長友 未来
 森内 洸太 山崎 駿斗 山崎 文徳
- 柴田 重信 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/shibata/>
 大久保 仁 佐々木啓佑 下田 武遵 田中友一朗 東藤 愛
 深澤真由子 宮川 大輝
- 宗田 孝之 研究室
 前澤 知紀 安藤 康宏 上田 航大 上野 早紀 中山 卓也
 福地 七穂 藤森 太郎

- 高松 敦子 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/takamatsu/Welcome.html>
 石崎 陽 幸崎 峻 小林 学弥 戸田 賢 溝江 恵太
 満武 雄也
- 武田 京三郎 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/takeda/>
 乾 将志 櫻山 和浩 東条 樹 松永 雄樹
- 浜田 道昭 研究室 <https://sites.google.com/site/hamabioinflab/>
 島田 剛志 武田 大海 木場 研吾 久芳 航 細田 至温
 松丸 綾子 田頭 将喜
- 林 泰弘 研究室 <http://www.hayashilab.sci.waseda.ac.jp/hayashi/>
 金成 宇輝 東山 和寿 内山 慎距 釜 壮一郎 高澤 佑太
 田尻 航太 谷 哲郎 濱 洗貴 村上 紗彩 劉 安東
- 牧本 俊樹 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/makimoto/>
 椎野 直樹 塚崎 貴司 外山 大貴 長澤凜太郎 日吉 連
 吉川 真弘
- 村田 昇 研究室 <https://www.murata.eb.waseda.ac.jp/>
 西田 昂弘 藤元 康平 斉藤 友樹 田中 大 中西 勇人
 中村 圭太 広岡 大吾 布施 拓馬
- 柳谷 隆彦 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/yanagitani/>
 西山 航平 遠藤 結佳 唐澤 嶺 清水 貴博 戸塚 誠
 矢崎 花 山川 愉生
- 若尾 真治 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/wakao/>
 安藤 淳史 大塚 圭介 小田美穂子 鎌田 飛鳥 小浦 直洋
 古谷 亮介 松永 純弥
- 渡邊 亮 研究室 <http://www.eb.waseda.ac.jp/watanabe/>
 錦野敬三郎 太田 琢也 鎌田 龍太 國井 彩乃 堤 翔英
 中西 琢実 榎 洋佑

<情報理工学科>

- 石川 博 研究室 <http://hi.cs.waseda.ac.jp/index.php/ja/>
 加藤 悦男 近江谷真由 小泉 信幸 高橋 宏輝 原田 大史
 藤谷 真之
- 入江 克 研究室 http://www.f.waseda.jp/fbx3/index_ja.htm
 豊田 雅人 三分一裕樹 宮川 和也
- 上田 和紀 研究室 <http://www.ueda.info.waseda.ac.jp/index-j.html>
 倉本 凱 増田 健太 安生 達也 小林康太郎 富岡 太一
 柳川 峻広 張 斯斯
- 小川 哲司 研究室 <http://www.pcl.cs.waseda.ac.jp>
 内田 陵斗 芦川 博人 菅原 一真 田中 修平 長谷川隆徳
 横山 勝矢

- 笠原 博徳 研究室 <http://www.kasahara.cs.waseda.ac.jp>
 大西 泰右 長尾 大樹 宮本 一輝 山崎 明彦 山下 大智
 山下 優人
- 甲藤 二郎 研究室 <http://www.katto.comm.waseda.ac.jp>
 小川 啓吾 川上 航 坂本 悠輔 長島 達哉 平尾 克彦
 安丸 昌輝 山下 祥輝
- 亀山 渉 研究室 <http://www.km.comm.waseda.ac.jp/>
 諸井 康平 大石 章央 加藤 敦士 瀧田 留奈 田上 結衣
 豊田 葵 長井 志歩 神田 晃宏
- 木村 啓二 研究室 <http://www.apal.cs.waseda.ac.jp/>
 河田 巧 北村理咲子 清水 勇希 田村 亮太 仲田 優哉
- 後藤 滋樹 研究室 <http://www.goto.info.waseda.ac.jp/index-j.html>
 佐藤 弘毅 澤部 祐太 中森 朋郁 松林 涼 森 美咲
 若林 哲宇 板谷 衡
- 小林 哲則 研究室 <http://www.pcl.cs.waseda.ac.jp/>
 小川 彰裕 石井 王寛 黒澤 郁音 内藤 一美 野川賢二郎
 ハーゲン貴槻 長谷川美夏
- 酒井 哲也 研究室 <http://www.f.waseda.jp/tetsuya>
 伊藤 昂平 犬塚眞太郎 川上 莉奈 黒澤 瞭佑 佐藤 航
 楊 旭卉 大館 裕一 李 承涛
- 佐藤 拓朗 研究室 <http://www.sato.comm.waseda.ac.jp/>
 戸祭 敬介 市瀬奨一郎 小川 諒 釜地 梨王 田澤亮一朗
 馮 程辰
- 嶋本 薫 研究室 <http://www.sl.comm.waseda.ac.jp/>
 大塚 正誉 鈴木 陽登 初田 瑞穂 花尻 賢祐 横山 彩
 宮邊 晴樹 楊 洋
- 清水 佳奈 研究室 <http://cbio.cs.waseda.ac.jp>
 飯野 翼 神保 元脩 須藤 弘貴
- 菅原 俊治 研究室 <http://www.isl.cs.waseda.ac.jp/lab/>
 橋本 拓磨 尾形 直哉 小瀬木晴信 小泉 知夏 中村 澄
 前田 勇哉
- 高畑 文雄 研究室 <http://www.takahata.comm.waseda.ac.jp/>
 江橋 真人 井上 貴裕 岡本 紘幸 高畑 陸 二階堂 健
 早川 将
- 田中 良明 研究室 <http://www.tanaka.giti.waseda.ac.jp>
 大江 晴菜 鹿島 陸史 君野 雄哉 須田 達也 中澤 翼
 松田 直也
- 戸川 望 研究室 <http://www.togawa.cs.waseda.ac.jp/>
 村松 和侑 浅井 大輝 稲葉 亮音 岩田 紗瑛 平井 勇也
 百瀬 凌也 矢作 裕基

中里 秀則 研究室	http://www.nz.comm.waseda.ac.jp/					
波岡 慶佑	福井 準也	阿部倉 圭	王 子文	金田 健吾		
白岩 善昭	吉井 宏希					
中島 達夫 研究室	http://www.dcl.cs.waseda.ac.jp/					
小林 俊也	狩野 佑記	木下祐紀子	坪井 宏樹	遠山 秀馬		
南本 良助						
深澤 良彰 研究室	http://www.fuka.info.waseda.ac.jp/					
有菌由香理	岩瀬 裕子	小野那緒人	坂本 竜	田中 星佳		
藤本 一星	張 靖遠					
前原 文明 研究室	http://www.waseda.jp/sem-maehara/					
末永 大明	猪上 孝明	小谷 直	白木 隆	新貝鉄太郎		
新保 薫子	西田 紘基					
松山 泰男 研究室	http://www.wiz.cs.waseda.ac.jp/					
伊藤 舞	吉里 陸	新井 遙菜	櫻井 亮太	佐藤 晟		
吉村 朱夏						
森 達哉 研究室	http://nsl.cs.waseda.ac.jp/					
小澤 寛人	シメンカレイド	阿部憲太郎	楠本 純也	齋藤 慶太		
笹岡 京斗	芹沢 奈々	丸山 誠太				
山名 早人 研究室	http://www.yama.info.waseda.ac.jp/					
中西 梓	伊藤 仁一	大谷 一善	佐藤 宏樹	塩浦 尚久		
武井 彩佳	堀川 右京					
鷺崎 弘宣 研究室	http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/					
橋本 慧	礎 良輔	鎌田 夏実	先崎祐一郎	細野 将揮		
駱 イ賓	渡邊 泰宏					
渡辺 裕 研究室	http://www.ams.giti.waseda.ac.jp/					
合田 大祐	青木 貴大	小林 大起	松田 卓也	横井 真也		

<電子物理システム学科>

宇高 勝之 研究室					
赤石 陽太	木下 雄貴	小沼 将大	櫻井 匠	清水 叶	
白井 智大	杉中 亮太	水呉 拓也			
川西 哲也 研究室					
赤間 慶	宇野 彰紘	日下田 健	工藤慎之輔	豊田 茂新	
野山 雄貴	林 秀樹	呂 牧原			
川原田 洋 研究室	http://www.kawarada-lab.com/				
木田英利子	阿部 修平	大井 信敬	大久保 智	梶家 美貴	
河合 空	露崎 活人	星野 晴華			
木村 晋二 研究室	http://www.waseda.jp/sem-vlsi/				
大澤森一郎	本莊 研	松本 大輝			

- 小山 泰正 研究室 <http://www.koyamalab.sci.waseda.ac.jp/>
 鈴木 篤志 小山 徹 嶋田 怜朗 鈴木美智子 関 元樹
 廣山 拓巳 山村 祐樹 島田 克行
- 史 又華 研究室 <http://www.islab.cs.waseda.ac.jp>
 馬 馳 伊藤 卓 井上 雄太 黒田 明希 杉山 貴紀
 庄子 習一 研究室 <http://www.shoji.comm.waseda.ac.jp>
 厚見 賢一 上林 拓海 坂本 暁祐 佐藤 成晃 澤井 駿介
 塩澤茉由子 唐 陳偉 梁 二路
- 谷井 孝至 研究室 <http://www.tanii.nano.waseda.ac.jp/>
 伊藤真依子 鈴木 雄大 高山 優奈 床枝佑里子 中根 任宏
 平野 里奈 福田 諒介 古澤 昂平 米山 智也
 柳澤 政生 研究室 <http://www.yanagi.cs.waseda.ac.jp/>
 渋谷 高史 坪井 歩武 広田 衛 松井 忠許 水野 隼斗
 山中 由也 研究室 <http://www.yamanakalab.sci.waseda.ac.jp/>
 大山 京尋 小鴨 研太 籠嶋 辰 周 潤子 竹内 啓太
 早木 悠斗 山田 健斗
- 山本 知之 研究室 <http://www.cms.sci.waseda.ac.jp>
 秋谷 和佳 荒井凜太郎 小蘭江幹太 小船井真悟 胡 龍
 寫津航太郎 深見 豊
- 吉増 敏彦 研究室 <http://www.f.waseda.jp/yoshimasu/jp/index.html>
 梶原 徹 佐藤 光一 竹原 弘樹
 渡邊 孝信 研究室 <http://www.watanabe.nano.waseda.ac.jp/>
 大西 拓弥 鳥 圭佑 高橋 憶人 滝口 千波 寺田 拓哉
 中野 久幹 姫田 悠矢 大和 亮

<応用数理学科>

- 大石 進一 研究室 <http://www.oishi.info.waseda.ac.jp/members/index-j.html>
 田口 貴也 鈴木 悠介 中島 仁 金子 直樹 齊藤 健介
 小林 大地 酒井 将大
- 柏木 雅英 研究室 <http://www.kashi.info.waseda.ac.jp/>
 大橋 俊介 沖森 祐友 北原 銀河

<表現工学科>

- 及川 靖広 研究室 <http://www.acoust.ias.sci.waseda.ac.jp>
 雨宮 愛 木村 大洋 草野 翼 野崎 琴代 古澤 苑子
 南 翔汰

2016年度博士号取得者

() 内は指導教員

《 2016年度 電気・情報生命専攻 》

- 井上 俊雄 (岩本 伸一) 電力系統の事故時および平常時の周波数変動解析に関する研究
 王 韜 (石山 敦士) 高磁場・高精度磁場発生のための高温超電導コイル化技術に関する研究
 吉永 淳 (林 泰弘) PV大量導入とデマンドレスポンスに対応した系統制御機器と蓄電池の協調電圧制御に関する研究
 森本 貴明 (大木 義路) 希土類系高誘電率材料中の点欠陥の解明
 勝木 孝行 (井上 真郷) A Study on Bayesian Optimal Estimation with Probabilistic Hidden Structure Modeling
 浦浜 嵩 (胡桃坂仁志) ヒト精巣において高発現するヒストンH3.5およびTSH2Bを含むヌクレオソームのX線結晶構造解析
 孫 惟哲 (小林 正和) ZnMgTe/ZnTe導波路の作製と高性能電気光学効果デバイスの開発
 宇留野 彩 (小林 正和) 近接昇華法によるTe系カルコパイライト材料の作製とAgGaTe₂太陽電池の開発
 中須 大蔵 (小林 正和) ZnTe/サファイア構造のヘテロエピタキシー機構の解明
 園田 翔 (村田 昇) 深層ニューラルネットの積分表現理論
 谷口 峻 (若尾 真治) 鉄道用PMSMドライブシステムにおける回転位相角センサレス制御の高度化に関する研究
 馬場 碧 (柴田 重信) 精神疾患および記憶機能における体格関連一塩基多型の影響
 河野 俊介 (林 泰弘) Studies on Voltage Control for Distribution Networks with Disconnecting/Connecting Photovoltaic Systems

《 2016年度 情報理工専攻 》

- 松本 翔太 (上田 和紀) Validated Simulation of Parametric Hybrid Systems Based on Constraints
 本田 澄 (鷺崎 弘宜) Generalized Software Reliability Model Considering Uncertainty and Dynamics: Theoretical Foundations and Empirical Applications
 山下浩一郎 (笠原 博徳) センサーネットワークアーキテクチャシステム設計と実装評価に関する研究
 俵 直弘 (小林 哲則) A study on speaker clustering considering inner/inter segment structure

《 2016年度 情報理工・情報通信専攻 》

- 坏 弘明 (上田 和紀) Efficient and Reliable Data Storing Methods in Large-scale Storage Systems
 山崎 託 (田中 良明) アドホックネットワークにおける中継範囲絞り込みパケット転送方式の研究
 SAY Sotheara (嶋本 薫) Studies on Multiple Access Schemes for UAV based Sensor Networks

Axel Beaugendre (甲藤 二郎) Fast Foreground Object Detection Methods Designed for Ultra High Definition Videos

《2016年度 ナノ理工学専攻》

稲葉 優文 (川原田 洋) Electron device applications of low-dimensional conductive carbon materials

岡田愛姫子 (庄子 習一) High quality GaN template for high efficiency light-emitting diodes

《2016年度 数学応用数理専攻》

田中 一成 (大石 進一) 楕円型偏微分方程式に対する精度保証付き数値計算と関連する問題

水口 信 (大石 進一) Verified numerical computation for solutions to semilinear heat equations using semigroup theory (半群理論を用いた半線形熱方程式の解に対する精度保証付き数値)

《2016年度 表現工学専攻》

矢田部浩平 (及川 靖広) Studies on signal processing methods for optical sound field measurement

Nachanant CHITANONT (及川 靖広) Spatio-temporal filtering for visualizing sound field by Schlieren method.

<受賞・褒章>

お知らせのあったものを掲載しています。(受賞時の学年を表記)

順不同

情報通信学科／情報理工・情報通信専攻 教授 高畑文雄	日本放送協会 日本放送協会放送文化賞
元EWE会長 石川 宏 1965電通卒	第61回前島密賞
情報理工・情報通信専攻 森研究室 修士2年 笹生 憲 情報理工学科 森研究室 学部4年 志賀遼太、飯田雄太	ICT 教育推進協議会 cloudpack 杯 第5回 ICTトラブルシューティングコンテスト 最優秀賞
情報理工・情報通信専攻 修士2年 王 瀾、林 佑磨 山名研究室 修士1年 飯島聡美 酒井研究室 情報理工学科 酒井研究室 学部5年 河東宗祐	第8回データ工学と情報マネジメントに関する フォーラム (DEIM 2016) 学生プレゼンテーション賞
情報理工学科 田中研究室 学部4年 亀田峻太	電子情報通信学会 東京支部学生奨励賞
電気・情報生命専攻 大木研究室 修士2年 北村文乃	電気学会 平成27年度 電気学会基礎・材料・共通部門 優秀論文発表賞
情報理工学専攻 戸川研究室 博士3年 川村一志 情報理工・情報通信専攻 戸川研究室 修士2年 藤原晃一、大屋 優 修士1年 古城辰朗 情報理工学科 戸川研究室 学部4年 長谷川健人	情報処理学会 情報処理学会システムとLSIの設計研究会 優秀学生発表賞

情報通信学科 田中研究室 助教 古 博	電子情報通信学会 情報通信マネジメント 英語セッション 奨励賞
情報理工・情報通信専攻 山名研究室 修士2年 王 瀾	IEEE主催 2016年ビッグデータ解析に関する国際会議 優秀プレゼンテーション賞
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 松山泰男	第4回 Waseda e-Teaching Award
情報理工学科 前原研究室 学部4年 宇田川海斗	ICT 教育推進協議会 cloudpack 杯 第5回 ICTトラブルシューティングコンテスト 最優秀賞
情報理工学専攻 小林哲則研究室 修士2年 土田賢次郎	日本音響学会 第11回学生優秀発表賞
情報理工・情報通信専攻 小林哲則研究室 修士1年 森岡 幹	日本音響学会 第12回学生優秀発表賞
情報理工学科 小林哲則研究室 学部4年 浅野秀平	動的画像処理実用化ワークショップ 研究奨励賞
電気・情報生命専攻 大木研究室 修士1年 宮本真希	IEEE DEIS 日本支部 学生国際会議優秀論文発表賞
電気・情報生命専攻 大木研究室 修士1年 小高大祐	IEEE DEIS 日本支部 国内会議優秀論文発表賞
電子物理システム学科 渡邊研究室 助手 橋本修一郎	28th International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2015) Committe MNC2015 Most Impressive Poster
電気・情報生命専攻 宗田研究室 博士2年 宮下 聡	神経発生討論会 (The 9th Annual Meeting for Japanese Develop- mental Neuroscientists) Developmental neuroscience award
電気・情報生命工学科 小林正和研究室 学部4年 瀧 駿也	電気学会東京支部 電気学術奨励賞
電子物理システム学科/ナノ理工学専攻 教授 川原田洋	文部科学省 平成28年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞・研究部門
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 准教授 森 達哉	電子情報通信学会 情報セキュリティ研究専門委員会 暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS 2016) イノベーション論文賞
電気・情報生命専攻 若尾研究室 修士1年 梶ヶ谷尚之	電気学会 電気学術奨励賞
電気・情報生命工学科 胡桃坂研究室 助教 有村泰宏	The 4th Cold Spring Harbor Asia conference on Chromatin, Epigenetics and Transcription
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 小林哲則	人工知能学会 2015年度研究会優秀賞
情報理工・情報通信専攻 教授(任期付) 林 良彦 情報理工・情報通信専攻 小林研究室 修士3年 高津弘明 修士1年 福岡維新	
情報通信学科 甲藤研究室 助教 金井謙治	情報処理学会 AVM研究会 AVM賞 最優秀賞
情報理工学専攻 小林哲則研究室 博士5年 大町 基	日本音響学会 第13回学生優秀発表賞

情報理工・情報通信専攻 甲藤研究室 博士2年 Bo Wei	電子情報通信学会 情報通信マネジメント研究会 英語セッション奨励賞
情報理工・情報通信専攻 田中研究室 博士3年 山崎 託	電子情報通信学会 ネットワークソフトウェア優秀ポスター賞
電気・情報生命工学科 柴田研究室 助教 田原 優 重点研究機構次席研究員 青山晋也	2016 SRBR Meeting Trainee Travel Award 受賞
EWE評議員 1951電気通信卒 南 敏	一般社団法人画像電子学会 「アレキサンダー・ベイン賞」
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 後藤滋樹 准教授 森 達哉 情報理工・情報通信専攻 後藤研究室 博士1年 千葉大紀	電子情報通信学会 情報通信システムセキュリティ 研究専門委員会 ICSS2015年度研究賞
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 後藤滋樹 准教授 森 達哉 情報理工・情報通信専攻 後藤研究室 修士2年 志村正樹、高橋一基、武部高礼	電子情報通信学会 通信ソサイエティ インターネッ トアーキテクチャ研究会 インターネットアーキテクチャ最優秀研究賞
電気・情報生命専攻 胡桃坂研究室 助教 町田晋一	Cold Spring Harbor Asia, Cold Spring Harbor Asia Fellowship Award
電子物理システム学科 川原田研究室 助手 稲葉優文	第35回電子材料シンポジウム EMS賞
電気・情報生命専攻 岩本研究室 修士2年 石川綾乃 博士1年 竹延祐二 林研究室	2016年度電気学会全国大会 優秀論文発表賞
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 石川 博 教授 情報理工・情報通信専攻 石川研究室 次席研究員 飯塚 里志、シモセラ エドガー	経済産業省 Innovative Technologies 2016
情報理工・情報通信専攻 菅原研究室 博士1年 杉山歩未	IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会、人工知 能学会、日本ソフトウェア科学会 共催 IEEE Young Researcher Award (Joint Agent Workshops and Symposiums)
情報理工・情報通信専攻 後藤研究室 修士1年 阿部航太	Asia Pacific Advanced Network (APAN) BEST STUDENT PAPER AWARD, APAN Research Workshop 2016, 42nd Asia Pacific Advanced Network Meeting in Hong Kong
情報理工・情報通信専攻 山名研究室 修士1年 滝川真弘	電子情報通信学会、情報処理学会 FIT奨励賞
電気・情報生命専攻 修士1年 小柳 唯、田邊 龍 岩本研究室 修士1年 金子曜久、黒羽亮一 林研究室	電気学会 電力・エネルギー部門 YPC奨励賞
電気・情報生命専攻 修士1年 佐藤吾子、永川恭州 岩本研究室 修士1年 宮澤歩夢、村上晃平 林研究室	電気学会 電力・エネルギー部門 YPC優秀発表賞
電気・情報生命専攻 浜田研究室 修士1年 三品気吹 ポスドク 福永津嵩	第5回生命医薬情報学連合大会 (IIBMP 2016) ポスター賞

情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 松山泰男 応用数理学科/数学応用数理専攻 教授 大石進一	2016年度 早稲田大学大隈記念学術褒賞 記念賞
電気・情報生命専攻 大木研究室 修士2年 花田脩伍	米国電気電子学会 (IEEE) Honor of Excellent Student Paper 受賞
電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 教授 大木義路、林 泰弘	2016年度早稲田大学リサーチアワード 大型研究プロジェクト推進
電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 准教授 柳谷隆彦	2016年度早稲田大学リサーチアワード 国際研究発信力
電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 教授 若尾真治	2015年度秋学期・2016年度春学期早稲田大学ティー チングアワード 総長賞
電気・情報生命専攻 岩本研究室 修士2年 五味知幸	電気学会 電力・エネルギー部門 電力技術委員会 奨励賞
電気・情報生命専攻 岩本研究室 修士2年 市原美樹	電気学会 電力・エネルギー部門電力技術・電力系統技術合同研究会 優秀論文発表A賞
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 深澤良彰	第15回合同エージェントワークショップ&シンポジ ウム2016実行委員会 JAWS2016優秀論文賞
情報理工学科 清水研究室 学部4年 須藤弘貴、神保元脩	第5回生命医薬情報学連合大会 (IIBMP 2016) 研究奨励賞
電気・情報生命専攻 大木研究室 博士2年 黒田千愛	2016年度 放電学会 優秀論文発表賞
電気・情報生命工学科 大木研究室 学部4年 兼子拓也	2016年度 放電学会 優秀ポスター発表賞
情報理工・情報通信専攻 笠原研究室 修士2年 丸岡 晃	情報処理学会 システム・アーキテクチャ研究会 若手奨励賞
表現工学専攻 及川研究室 博士1年 石川憲治	日本音響学会 第13回 (2016年春季研究発表会) 学生優秀発表賞
表現工学専攻 及川研究室 修士2年 小谷野雄史、中村歩己 修士1年 井上敦登、齊藤良二	日本音響学会 第14回 (2016年秋季研究発表会) 学生優秀発表賞
情報理工学科 小川研究室 学部4年 芦川博人	日本音響学会 第14回学生優秀発表賞
電子物理システム学科 川原田研究室 学部4年 露崎活人	第41回 (2016年秋季) 応用物理学会 講演奨励賞
情報理工・情報通信専攻 森研究室 修士1年 星野 遼、 学部4年 丸山誠太 情報理工・情報通信専攻 後藤研究室 修士2年 佐藤拓未、 修士1年 喜入 亮、阿部航太、野口大貴	情報処理学会 コンピュータセキュリティシンポジウム MWS Cup2016 第3位
情報理工学科 森研究室 学部4年 丸山誠太	情報処理学会 コンピュータセキュリティシンポジウム CSS2016 最優秀論文賞

情報理工・情報通信専攻 森研究室 助手 孫 博	情報処理学会 コンピュータセキュリティシンポジウム MWS2016 優秀論文賞
情報理工・情報通信専攻 森研究室 修士2年 芳賀夢久 学部4年 芹沢奈々	情報処理学会 コンピュータセキュリティシンポジウム CSS2016 学生論文賞
情報理工学科 森研究室 学部4年 丸山誠太	サイバーセキュリティシンポジウム道後 最優秀学生研究賞
情報通信学科/情報理工・情報通信専攻 教授 鷺崎 弘直	Asia Pacific Society for Computing and Information Technology Computer Research Contribution Award
電子物理システム学科 川原田研究室 学部4年 露崎 活人	ニューダイヤモンドフォーラム 第30回ダイヤモンドシンポジウム 優秀講演賞
電子物理システム学専攻 庄子研究室 修士1年 金田 達志	第23回「エレクトロニクスにおける マイクロ接合・ 実装技術」 シンポジウム (MATE 2017) 優秀発表賞
情報理工・情報通信専攻 深澤研究室 修士2年 片江将希、田邊萌香	第15回合同エージェンツネットワークショップ&シンポジ ウム2016実行委員会 JAWS2016優秀発表賞
電子物理システム学専攻 渡邊研究室 修士2年 金田達志	MNC 2016 Young Author's Award
電子物理システム学専攻 渡邊研究室 修士1年 大場俊輔	電子デバイス界面テクノロジー研究会 (第22回) 服部賞
電子物理システム学科 渡邊研究室 助手 橋本修一郎	MNC 2015 Most Impressive Poster Award
電気・情報生命専攻 石山研究室 修士2年 池田愛花、今市洋平 修士1年 勝俣一輝	2016年度 低温工学・超電導学会 優良発表賞
電気・情報生命専攻 石山研究室 修士2年 中園浩平	2016年度 電気学会 電力・エネルギー部門 優秀論文発表賞
電気・情報生命専攻 林研究室 博士2年 喜久里浩之	2016年 IEEE PES Japan Joint Chapter Student Best Paper Award (学生優秀論文賞)

2016年度就職状況

2016年度の就職活動を振り返って

電気・情報生命工学科/電気・情報生命専攻 就職指導担当 教授
村田 昇、小林 正和、牧本 俊樹



電気・情報生命工学科および電気・情報生命専攻では、例年どおり3名の就職担当教員が学生の就職活動の支援を行ってまいりました。おかげさまで、本年度も本学科・専攻は300を大きく越える企業から求人票を戴きました。そのうち推薦依頼は270社にのぼり、延べ500名を越える推薦枠を戴きました。



学生の就職活動の状況ですが、今年度も採用スケジュールの変更がありました。昨年度は経団連の指針により多くの企業が3月に広報活動を開始、8月に選考活動を開始とし、例年より数ヶ月遅い後倒しの採用スケジュールとなりましたが、例年どおりのスケジュールで採用を実施した企業も多くあったことから、結果として就職活動期間が長期化し、学生への大きな負担となりました。本年度はその反省を踏まえて、選考活動の開始が6月と2ヶ月早められました。このスケジュールの変更を見据えて、まず12月に学科説明会を開催して就職活動を進めていく上での注意点を説明し、同時に Course N@vi (早稲田大学の教学支援システム) を通じて求人票をはじめとする就職関連情報の公開を対象学生に対して始めました。また多くの企業が広報活動を開始した3月には、学科推薦を希望する学生を対象として説明会を再度開催し、6月の推薦状発行に向けて本格的に支援活動を開始しました。選考活動の前倒しによる混乱も懸念されましたが、結果的には大きな混乱もなく6月には多くの学生が就職活動を終熄させることができ、前年度よりは大幅に学生への負担が軽減された印象です。



本年度の就職・進学状況の概要は以下のとおりです。2016年度卒業を目指して卒業研究に取り組んだ学部学生は133名ですが、このうち99名が進学し、その大部分が卒業研究で所属した研究室に進学し、引き続き研究を行う予定です。また就職が決まっている学生は29名で、その内訳は図1のようになっています。一方、大学院で修士論文に取り組んでいる学生は100名ですが、修士課程を修了して就職予定の学生は94名で、その内訳は図2のようになっています。就職先は学部・大学院ともに御覧のようにメーカーから医療・金融業界まで多岐に渡ります。この幅広い分野への就職は、設備・機械のIT化や事業の多様化にともない電気・電子・情報工学の素養を持つ人材は依然として人気があり、また従来市場の成熟に伴い新規市場を開拓する必要からメーカー系は積極的に医療・生命科学分野への応用を模索し始めたという昨今の状況が後押ししていることもあります。多様な研究活動を行う研究室を有する本学科・専攻の一つの特徴となっています。

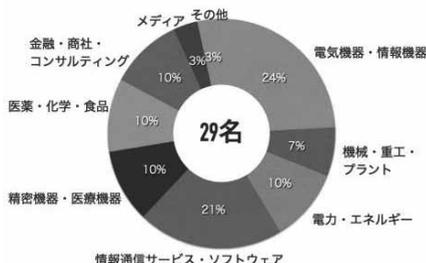


図1 学部卒業生の就職先



図2 修士課程を修了した学生の進路

さて、皆様のお陰をもちまして、本年度も多くの学生が社会に旅立っていきます。就職する皆さんには、大学で得た知識・経験を存分に活かして4月から活躍されることを期待します。また今後は自身も卒業生として後輩への支援に御協力下さい。最後になりましたが、EWEの活性化委員の方々には、毎年企業見学会や先輩と学生の交流会を開催して戴いており、学生にとっては貴重な就職活動の機会を提供して戴いております。この場をお借りして御礼を申し上げます。今後とも引き続き御指導・御鞭撻の程宜しくお願い致します。

2016年度基幹理工学研究科「情報理工・情報通信専攻」と 基幹理工学部「情報理工学科」在籍学生の進路状況

情報理工学科／情報理工・情報通信専攻 就職指導担当 教授
鷺崎 弘宜、高畑 文雄、田中 良明



2016年度に卒論着手を認められ研究室に在籍し卒業見込みの学部学生は163名、うち情報理工・情報通信専攻修士課程への進学予定者99名（うち推薦85名、試験14名）、他大学・他学部進学予定者5名、就職予定者50名です。本専攻への進学率は61%となり、昨年度の53%（=94/177名）から上昇が見られました。情報産業におけるIT投資は堅調に推移している一方、世界情勢も含め不透明な側面がある中で、進学して専門性や研究力・問題解決力等をより深めてから社会で活躍することを志す学生がやや増えたと考えられます。



修士課程については、修了見込みの大学院生は91名、うち本専攻博士課程への進学予定者3名、他大学博士課程進学予定者1名、就職予定者69名です。進学・就職以外の大学院生の多くは、帰国予定あるいは9月修了のため進路を継続検討中の国際コースの学生になります。



就職について本稿執筆者の3名が学生と企業の橋渡しを担当しました。就職環境を振り返ると、経団連の就職活動方針において会社説明会開始時期が前年度と同じ3月に据え置か

れながらも、(名目上の)選考解禁時期が前年度の8月から6月に前倒しとなり、経団連加盟企業について言えば説明会以降の実質的な就職活動期間が短縮されました。それに伴い、例年よりも長くなった説明会前の準備期間の過ごし方が一層大切なものとなり、インターンシップの機会を積極活用する学生が多くなりました。また例年と変わらず、経団連非加盟の企業における説明会や選考は2015年中から活発であり、経団連加盟企業とあわせて幅広くアプローチした学生も多くな

ました。

内定率は例年と遜色のないものとなりました。修士修了2名以上の就職先となる見込みの組織は、KDDI、NHK、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ、NTT研究所、キヤノン、クックパッド、ソニー、フィックスターズ、ヤフー、野村総合研究所、任天堂、日立製作所、三菱電機です。また学部卒2名以上の就職先となる見込みの企業は、NTTコムウェア、日本IBM、三菱総研DCSです。昨年度に引き続き情報通信関係や電機メーカーを中心に様々な業種へと人材を送り出すことができたといえます。

就職する学生諸君には、活動した経験を糧とし、4月からの活躍を期待しています。またその活躍が結果として、後輩への就職機会に繋がることを願っています。企業の皆様には、例年と同様あるいはそれ以上の採用をいただいたことに厚く御礼申し上げますと同時に、来年度も引き続き積極的な採用をお願いさせていただきます。最後にEWEには、例年と同様に複数企業のOB / OGを招いての「EWE先輩と学生との交流会」を開催していただきました。学生の評判は大変良好であり、深謝を申し上げます。

2016年度電子物理システム学科・専攻、 ナノ理工学専攻(電子物理システム系)の就職活動を振り返って

電子物理システム学科／電子物理システム学専攻 教授 柳澤 政生



2007年4月に理工が再編され、電子光システム学科(現、電子物理システム学科)が誕生しました。今年度は2011年に入学した第5期生が修士2年となり、14名の学部生とともに就職活動を行いました(修士・学部合計で80名)。当学科・専攻として5回目の本格的な就職活動になります。当学科・専攻も多くの企業の方々に知っていただいたようで、300社以上という多くの求人票が送られて来るようになりました。5年間で就職活動を行った学生は約360名なのですが、約160社に入社しており、広い分野で卒業生が活躍していることを示しています。具体的な会社名、入社者数を最後に示します。

今年度の就職活動は、スケジュールの前倒しにともない、若干、混乱しましたが、昨年度よりは、はるかにマシでした。就職担当としては情報の共有に最も力を入れました。情報の共有は主に、当学科・専攻用の就職情報web(愛称、梅ちゃんシステム。梅崎氏が後藤敏研究室の学生だったときにボランティアで開発してくれたシステムで、昨年度よりクラウド化しています)を活用し、就職情報を掲示したり、学生の希望調査、集計を行いました。私でも少しは役に立ったようで、学生の有志から、御礼として、ワインとチーズをプレゼントされたことは非常に嬉しいハプニングでした。その一方、日本語を話せない学生の就職活動に関しては、就職担当がいかに無力かということを痛感させられた年でした。

結果的には、タフな就職活動に負けずに、学生は頑張り、当学科・専攻の就職活動は非常に良好に実施されたと考えています。5月中旬には8割がたの学生が就職活動を一段落させていました。学生の就職活動をご支援、ご協力いただいた連絡事務室の山崎さんに感謝します。

就職する学生諸君は4月から各職場で、大学生活で苦勞して習得した知識、経験、能力を十分に発揮して、活躍されることを期待しています。就職活動を通じて、卒業生のありがたさがわかったことと思います。卒業・修了後はEWEの正会員として、EWEの活動に協力し、後輩を導くことは必須なことと認識してほしいと思います。

企業の皆様には、学生へのご対応、ならびに、私との濃密な情報交換や相談にご協力いただき感謝申し上げますとともに、引き続き、来年度もお付き合いの程、よろしくお願い申し上げます。

就職先	人数	ローム	6	ソニー LSIデザイン	3
富士通	18	新日鉄住金	6	フジクラ	4
キヤノン	15	富士重工業	6	ルネサスエレクトロニクス	3
ソニー	12	富士フィルム	6	関西電力	3
トヨタ自動車	10	ソフトバンク	5	国家公務員	3
日立製作所	9	リコー	5	島津製作所	3
パナソニック	8	豊田自動織機	5	清水建設	3
KDDI	7	野村総合研究所	5	東京ガス	3
三菱電機	7	オリンパス	4	東芝	3
JFEスチール	6	大日本印刷	4	凸版印刷	3
NTT研究所	6	東北電力	4	日本IBM	3
NTTデータ	6	日産自動車	4	日立システムズ	3
デンソー	6	NEC	4		

以下は2名ずつ入社した会社：

JR東海、NHK、NTTコムウェア、NTT東日本、アクセンチュア、アルファシステムズ、カシオ計算機、コニカミノルタ、シャープ、セイコーエプソン、ダイキン工業、デロイトトーマツコンサルティング、ブリヂストン、マツダ、ワークスアプリケーションズ、住友電工、全日空、地方公務員、本田技研、三菱重工、三菱東京UFJ銀行、村田製作所、横河電機

以下は1名ずつ入社した会社：

Acroquest Technology、CTC、DSB情報システム、IHI、IIJ、JFE商事、J-Payment、JX日鉱日石エネルギー、NTTコミュニケーション、NTTドコモ、SMBC日興証券、TDK、アイデンティティ、アビームコンサルティング、アルプス電気、イビデン、イリソ電子工業、エスユーエス、キーエンス、キヤノン電子、ケンウッド、コナミ、サミー、サムスン電子ジャパン、サンディスク、システムサポート、シスメックス、スズキ、スタンレー電気、ソリトンシステムズ、ティルス、テクノプロ・デザイン、トーマツ、トランスコスモス、ニトリ、ノリタケ、パイオニア、はてな、パナソニックシステムネットワークス、ヒューマンクレスト、ファーストヴィレッジ、ブーズ・アンド・カンパニー、ベネッセ、ボルテージ、ホンダテクノフォート、マブチモータ、みずほ証券、ヤフー、ユニプレス、ヨコオ、ライゾマティクス、リクルートHRマーケティング、りそな銀行、リッチメディア、リンクアカデミー、ローデアンドシュワルツジャパン、ワタベウェディング、旭化成、朝日新聞社、出光興産、沖電気工業、起業、三和工機、住友金属工業、双日、大日本スクリーン製造、帝人、電源開発、東京エレクトロン、東芝エレベータ、東京メトロ、東芝プラントシステム、東芝三菱電機産業システム、東芝メディカルシステムズ、東武鉄道、東レエンジニアリング、日揮、日本オクラロ、日本ガイシ、日本経済新聞、日本航空、日本精工、日本総合研究所、日本電気、日本電産、日本発条、日本ビューレット・パッカード、日本無線、野村総研、日立オートモティブシステムズ、日立ハイテクノロジーズ、日立マクセル、日立国際電気、富士通関西中部ネットテック、富士通ゼネラル、古河電工、三井住友銀行、三井海洋開発、三谷商事、三菱商事、三菱商事ケミカル、三菱電機インフォメーションネットワーク、三菱電機ビルテクノサービス、理経

2016年度 就職先一覧

企業名	人数	企業名	人数
【ア行】		クックパッド	3
IMS Japan	1	KDDI	4
IHI	2	Kenya National Youth Service	1
アクセンチュア	1	コーエーテクモホールディングス	1
旭硝子	2	コーポレートディレクション	1
アビームコンサルティング	1	国際協力機構	1
アルプス電気	1	コムチュア	1
HCSホールディングス	1		
ACメディカル	2	【サ行】	
NECエンジニアリング	1	Cygames	1
NSP	1	埼玉県公立高等学校教員	1
NTTコミュニケーションズ	4	サイバーウェア	1
NTTコムウェア	4	サイバーエージェント	1
NTTデータ	5	ザイマックスエステートデザイン	1
NTTデータ アイ	1	ザクティ	1
NTTドコモ	3	サミー	1
NTTファシリティーズ	1	三洋貿易	1
エリクソン・ジャパン	1	サンリオ	1
沖電気工業	1	GE Japan	1
オリンパス	7	シー・エス・イー	1
オルトメディコ	1	GMOペイメントゲートウェイ	1
		ジール	1
【カ行】		JA三井リース	1
海城中学高等学校	1	JFEスチール	2
カシオ計算機	1	J-オイルミルズ	2
カネカ	1	首都高速道路	2
関西電力	3	新日鐵住金	2
かんぽ生命保険	1	新日鐵住金ソリューションズ	1
キャノン	5	スカパーJ SAT	1
九州電力	1	スクウェア・エニックス	1
キリン	1	スズキ	1
金融庁	1	スタンレー電気	1

企業名	人数	企業名	人数
住友電気工業	1	東芝メディカルシステムズ	1
総務省	2	東武鉄道	1
ソーバル	1	東邦システムサイエンス	1
ソニー	9	トヨタ自動車	7
ソニー LSIデザイン	1	豊田自動織機	2
ソニーネットワークコミュニケーションズ	2	トランスコスモス	2
ソフトバンク	4		
		【ナ 行】	
【タ 行】		National Eastern Tech-transfer Center	1
第一生命情報システム	1	日産自動車	1
大正富山医薬品	1	日清紡ブレーキ	1
ダイテックホールディング	1	日本アイ・ビー・エム	5
大同生命	1	日本インサイトテクノロジー	1
大日本印刷	2	日本光電工業	1
高崎市役所	1	日本航空	1
チームラボ	1	日本電気	2
千葉県庁	1	日本電信電話	3
地方公共団体情報システム機構	1	日本電気通信システム	1
中部電力	1	日本能率協会コンサルティング	1
千代田化工建設	1	日本放送協会	8
T I S	1	日本無線	1
D e N A	1	任天堂	2
ティルス	1	ネクストイノベーション	1
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	1	野村総合研究所	13
テレビ朝日	1		
テレビ山口	1	【ハ 行】	
デンソー	4	パナソニック	2
東京ガス	6	東日本電信電話	4
東京急行電鉄	2	東日本旅客鉄道	1
東京地下鉄	1	日立オートモティブシステムズ	1
東京電力ホールディングス	4	日立化成	1
東京都立産業技術研究センター	1	日立産業制御ソリューションズ	1
東芝	1	日立製作所	6
東芝三菱電機産業システム	2	日立ソリューションズ	1

企業名	人数	企業名	人数
日立ハイテクソリューションズ	1	三菱東京UFJ銀行	2
フィックスターズ	2	南太平洋大学	1
フクダ電子	1	明治安田システムテクノロジー	1
富士ゼロックス	1		
富士通	12	【ヤ行】	
富士フイルム	2	ヤフー	5
双子ゲームス	1	ヤマハサウンドシステム	1
フューチャーアーキテクト	1	ゆうちょ銀行	1
ブリヂストン	1	横河電機	1
古河電気工業	2		
ベイクレント・コンサルティング	1	【ラ行】	
PT Secom Indonesia	1	Line	1
ベリサーブ	1	リクルートホールディングス	3
北國銀行	1	リクルートライフスタイル	1
ホテル鐘山苑	1	理経	1
ホンダテクノフォート	1	リコー	2
		リンクアカデミー	1
【マ行】		ルネサスシステムデザイン	1
マーベラス	1	レコチョク	1
毎日新聞社	1	レジェンド・アプリケーションズ	1
みずほ証券	1	レバレジーズ	1
みずほ情報総合研究所	1	ローム	2
三井住友カード	1	ローランド・ベルガー	1
三井住友銀行	1		
三菱重工業	2	【ワ行】	
三菱商事	1	ワークスアプリケーションズ	1
三菱商事ケミカル	1	WOWOW	1
三菱総研DCS	2	早稲田大学本庄高等学院	1
三菱電機	10		

2016年度評議員委嘱状況

卒年／学部・学科		氏名	卒年／学部・学科		氏名
1947	専門部 工科電気通信科	黒澤 龍平	1961	第1理工学部 電気工学科	倉田 哲也
1947	理工学部 電気通信学科	赤松 正也	1961	第1理工学部 電気通信学科	長谷川豊明
1949	専門部 工科電気科	桑野 繁夫	1962	第1理工学部 電気通信学科	加藤 亮一
1949	専門部 工科電気通信科	進藤 純男	1962	第1理工学部 電気通信学科	竹村 裕夫
1951	理工学部 電気工学科	野原 和夫	1963	第1理工学部 電気工学科	小松雄一郎
1951	理工学部 電気通信学科	南 敏	1963	第1理工学部 電気通信学科	田中 良一
1951	第1理工学部 電気工学科	大村長太郎	1964	第1理工学部 電気工学科	田中博一郎
1951	第1理工学部 電気通信学科	小原 啓義	1964	第1理工学部 電気工学科	河野 通直
1952	第1理工学部 電気工学科	依田 文吉	1964	第1理工学部 電気通信学科	瀧本 幸男
1952	第1理工学部 電気通信学科	中山 元泰	1964	第2理工学部 電気工学科電気工学専修	福井 常忠
1953	第1理工学部 電気通信学科	加藤 利雄	1965	第1理工学部 電気工学科	小泉金之助
1954	第1理工学部 電気工学科	榊原 精一	1965	第1理工学部 電気通信学科	本間 勝
1954	第1理工学部 電気通信学科	田尻 利重	1966	第1理工学部 電気工学科	小林 昭夫
1954	第2理工学部 電気工学科	入江 宣夫	1966	第1理工学部 電気通信学科	杉原 鉄夫
1955	第1理工学部 電気工学科	龍田 幹雄	1967	第1理工学部 電気工学科	井上 哲郎
1955	第2理工学部 電気工学科	宮崎 滋水	1967	第1理工学部 電気通信学科	大島 英男
1956	第1理工学部 電気工学科	根木 誠	1968	理工学部 電気工学科	横山 隆一
1956	第1理工学部 電気通信学科	桑原 守二	1968	第1理工学部 電気通信学科	高垣 孝
1956	第2理工学部 電気工学科	中野 光倫	1969	理工学部 電気工学科	橋本 栄二
1957	第1理工学部 電気通信学科	幕田 健	1969	理工学部 電気通信学科	佐藤 祐介
1957	第2理工学部 電気工学科	土屋 篤	1970	理工学部 電気工学科	佐藤 増雄
1957	工業高等学校 電気科	堀内 恒憲	1970	理工学部 電気通信学科	
1958	第1理工学部 電気工学科	野口 尚宏	1971	理工学部 電気工学科	草間 晴夫
1958	第1理工学部 電気通信学科	厚東 健彦	1971	理工学部 電気通信学科	町山 晃
1958	第2理工学部 電気工学科	深澤 眞一	1972	理工学部 電気工学科	木村 裕恒
1958	工業高等学校 電気科	中川 正則	1972	理工学部 電気通信学科	小川 豊
1959	第1理工学部 電気工学科	浅村 皓	1973	理工学部 電気工学科	斎藤 涼夫
1959	第1理工学部 電気通信学科	駒田 和民	1973	理工学部 電気通信学科	武藤 信夫
1959	第2理工学部 電気工学科電気工学専修	中村 仁士	1974	理工学部 電気工学科	小野 治
1960	第1理工学部 電気通信学科	下村 尚久	1974	理工学部 電気工学科	島田健夫三

卒年／学部・学科		氏名	卒年／学部・学科		氏名
1974	理工学部 電気通信学科	花澤 隆	1988	理工学部 電子通信学科	
1975	理工学部 電気工学科	佐藤 勝雄	1989	理工学部 電気工学科	林 泰弘
1975	理工学部 電気通信学科	酒井 富夫	1989	理工学部 電子通信学科	河野 志行
1976	理工学部 電気工学科	中谷 義昭	1990	理工学部 電気工学科	田中 貞嗣
1976	理工学部 電子通信学科	宇高 勝之	1990	理工学部 電子通信学科	
1977	理工学部 電気工学科		1991	理工学部 電気工学科	
1977	理工学部 電子通信学科		1991	理工学部 電子通信学科	
1978	理工学部 電気工学科	川勝 裕之	1992	理工学部 電気工学科	江口 弘
1978	理工学部 電子通信学科	北野 昌宏	1992	理工学部 電子通信学科	
1979	理工学部 電気工学科		1993	理工学部 電気工学科	
1979	理工学部 電子通信学科		1993	理工学部 電子通信学科	井上 雅広
1980	理工学部 電気工学科	笠原 博徳	1994	理工学部 電気工学科	佐藤 環
1980	理工学部 電子通信学科	宇田川重雄	1994	理工学部 電子通信学科	
1980	理工学部 電子通信学科	滝川好比郎	1995	理工学部 電気工学科	豊島 成彦
1981	理工学部 電気工学科		1995	理工学部 電気工学科	春山 智
1981	理工学部 電子通信学科	森村 実	1995	理工学部 電子通信学科	山田 智紀
1982	理工学部 電気工学科	齋藤 則生	1995	理工学部 情報学科	
1982	理工学部 電子通信学科	清水 眞	1996	理工学部 電気工学科	吉澤 正克
1983	理工学部 電気工学科	小林 正和	1996	理工学部 電子通信学科	千脇 隆
1983	理工学部 電子通信学科	秋葉 浩	1996	理工学部 情報学科	村山 和宏
1984	理工学部 電気工学科	宮部 潤	1997	理工学部 電気電子情報工学科	佐藤 和幸
1984	理工学部 電子通信学科	小沼 和夫	1997	理工学部 電子通信学科	菊地 俊介
1985	理工学部 電気工学科	菅野 和男	1997	理工学部 情報学科	寛 一彦
1985	理工学部 電気工学科	寺本 哲	1998	理工学部 電気電子情報工学科	大井 祐子
1985	理工学部 電子通信学科	中村 寛	1998	理工学部 電子・情報通信学科	茂垣 武文
1986	理工学部 電気工学科	占部 博信	1998	理工学部 情報学科	園田 智也
1986	理工学部 電子通信学科		1999	理工学部 電気電子情報工学科	勝田 喬雄
1986	大学院電気工学専攻	原 洋	1999	理工学部 電子・情報通信学科	
1987	理工学部 電気工学科	丸山 和茂	1999	理工学部 情報学科	
1987	理工学部 電子通信学科		2000	理工学部 電気電子情報工学科	田中 毅
1988	理工学部 電気工学科	工藤 真	2000	理工学部 電子・情報通信学科	宮澤 敏記

卒年／学部・学科		氏名	卒年／学部・学科		氏名
2000	理工学部 情報学科	宮島 崇浩	2011	先進理工学部 電気・情報生命工学科	廣瀬 雄一
2001	理工学部 電気電子情報工学科	伊藤 俊秀	2011	基幹理工学部 情報理工学科	石塚 祥
2001	理工学部 電子・情報通信学科		2011	基幹理工学部 電子光システム学科	藪 翔平
2001	理工学部 情報学科		2012	先進理工学部 電気・情報生命工学科	高山 俊樹
2002	理工学部 電気電子情報工学科	金子 大作	2012	先進理工学部 電気・情報生命工学科	室伏 勇
2002	理工学部 電子・情報通信学科		2012	基幹理工学部 情報理工学科	赤坂 宏行
2002	理工学部 情報学科	堀井 洋	2012	基幹理工学部 電子光システム学科	松下明日香
2003	理工学部 電気電子情報工学科		2013	先進理工学部 電気・情報生命工学科	相場 貴之
2003	理工学部 電子・情報通信学科		2013	先進理工学部 電気・情報生命工学科	薄井 綾香
2003	理工学部 情報学科	森 紘一郎	2013	先進理工学部 電気・情報生命工学科	古井三誉子
2004	理工学部 電気電子情報工学科	深澤 知憲	2013	基幹理工学部 情報理工学科	高橋 翔平
2004	理工学部 電子・情報通信学科		2013	基幹理工学部 電子光システム学科	施 凱齡
2004	理工学部 情報学科	平手 勇宇	2013	基幹理工学部 電子光システム学科	橋口 誠広
2005	理工学部 電気電子情報工学科	菊間 俊明	2014	先進理工学部 電気・情報生命工学科	川和田達也
2005	理工学部 電子・情報通信学科		2014	先進理工学部 電気・情報生命工学科	河へーみん
2005	理工学部 情報学科		2014	先進理工学部 電気・情報生命工学科	高松 克明
2006	理工学部 電気電子情報工学科		2014	基幹理工学部 情報理工学科	丸小 倫己
2006	理工学部 電子・情報通信学科		2014	基幹理工学部 電子光システム学科	秋山 隼哉
2006	理工学部 情報学科	鈴木 幹也	2014	基幹理工学部 電子光システム学科	高野 正範
2007	理工学部 電気・情報生命工学科		2015	先進理工学部 電気・情報生命工学科	高橋 康太
2007	理工学部 コンピュータ・ネットワーク工学科	村松 裕介	2015	基幹理工学部 情報理工学科	無州 祐也
2008	理工学部 電気・情報生命工学科	夏井 正嗣	2015	基幹理工学部 電子光システム学科	和泉 聡志
2008	理工学部 電気・情報生命工学科	彦坂 早紀	2015	基幹理工学部 電子光システム学科	小出 隆太
2008	理工学部 コンピュータ・ネットワーク工学科	藍田 尚吾	2016	先進理工学部 電気・情報生命工学科	永川 恭州
2009	理工学部 電気・情報生命工学科		2016	基幹理工学部 情報理工学科	飯島 直輝
2009	理工学部 コンピュータ・ネットワーク工学科		2016	基幹理工学部 電子物理システム学科	遠藤 清
2010	理工学部 電気・情報生命工学科	佐藤 博亮	2016	基幹理工学部 電子物理システム学科	加藤かなみ
2010	理工学部 電気・情報生命工学科	蓬田 裕菜	2017	先進理工学部 電気・情報生命工学科	
2010	大学院先進理工学研究科 電気・情報生命専攻	上條 秀一	2017	基幹理工学部 情報理工学科	金田 健吾
2010	理工学部 コンピュータ・ネットワーク工学科	安川 要平	2017	基幹理工学部 電子物理システム学科	梶谷 美貴

* 空欄の評議員を募集しています。評議員を交替された場合は事務局までお知らせください。

2016年度終身会費納入者一覧

保坂 尚樹	1988 電気	吉田 貞樹	1980 電気	中力 功	1961 電気
刀根 秀生	1974 電気	高橋 英一	2013 情報	畑農 智実	1995 電通
水島 隼人	2007 C S	成田 正之	1960 電気	卜部 周二	1972 電通
小豆沢照男	1969 電気	畝本 和夫	1979 電気	若月 高敏	1969 電気
服部 和久	1968 電通	大出申八郎	1956 電気	水谷 陽輔	1998 電通
青木 秀高	1974 電気	竹島 栄吉	1949 電通	石川 貞夫	1972 電通
豊吉 一雄	1958 電気	山崎 恭	1993 電通	伊藤 大樹	2012 電子
西川 進	1967 電気	武藤 信夫	1973 電通	沖瀨 博亮	2012 電生
史 又華	2005 電通博	本間 敏夫	1974 電通	手塚 政仁	1968 電通
吉田 良	1968 電気	佐野 雅規	1992 電気	大沼 淳一	1990 電通
峯藤 健司	2011 電生	七井 貞明	1955 電気	清水 佳奈	2001 情報
田中 博道	1994 電通	稲垣 正行	1966 電通	阿座上誠也	2012 電生
横井 亮介	1964 電通	松浦 主幹	2012 電生	大内 紀子	1987 電気
石原 智宏	1983 電通				

◇賛助会員

村上 良明	1975 電通	鵜沼 仁	1956 電気	森川 雅之	1980 電気
手塚 典雄	1951 電気	田嶋 澄夫	1957 電気		

◇ご寄付ありがとうございました

松井 秀行	1953 電気	小豆沢照男	1969 電気	西村 真	1971 電気
七井 貞明	1955 電気	横井 亮介	1964 電通	辛島 宏	1978 電気

◇お悔やみ申し上げます。(2016年度にお知らせいただいた訃報を掲載しております)

お名前	卒年	学科	ご逝去日	お名前	卒年	学科	ご逝去日
板橋 雅美	1963	電通修	2014年	井上 秀夫	1951	電気	不明
小笠原泰三	1947	専工電	2016年3月7日	山口 登	1948	電気	2015年10月
金子 文隆	1954	電気	2014年	渋澤 裕	1956	専工電	2016年1月16日
柳沢 秀夫	1957	電気	2015年11月30日	藤川 算男	1937	電気	2009年1月17日
後藤 尚夫	1955	電通	2015年5月15日	岡田 稔	1961	電通	2015年2月21日
加藤由之助	1943	電気	2016年2月20日	渋澤 裕	1956	電通	2016年1月16日
三木 計男	1956	電気	2014年1月	増田 三男	1953	電気	2011年1月12日
有村伊智朗	1960	電通	2015年4月29日	池田 哲郎	1947	電通	2015年10月
柴沼富士雄	1957	電通	2015年3月18日	樋口 晃	1931	高電	2015年9月30日
今井 英男	1953	電気	不明	末次 乾二	1956	電通	2015年12月9日
半田 卓巳	1998	電気	2014年6月9日	林 義之	1959	電専修	2015年6月3日
土屋 宏嘉	1988	電気	2014年	神田 博康	1958	電気	2004年
市川 健三	1975	電通	2010年	谷中 鶴雄	1951	電気	2015年8月25日
初鹿 謙治	1967	電気	2014年	中村 陽生	1964	電通	2014年12月
岸野 弘	1949	専工電	2007年	村瀬 望	1958	電気	2015年6月
大村 諒	1940	電気	2008年9月	多田 博	1949	電気	2014年10月
飯島 貢	1958	電通	2016年1月13日	藤原 広	1950	電気	不明
吉岡 稔	1951	電気	2016年2月20日	藤野 一雄	1944	工電	不明
森 宗正	1955	電通	2015年秋	庄司 正喜	1956	電気	2015年8月
水沢 雅夫	1945	専工電	2011年	鶴田 和彦	1955	電気	2008年
福富 秀雄	1955	電気	不明	天野 健	1966	電通	不明
吉松 昇	1949	専工電	2015年5月4日	樋口 正紀	1945	工電	不明
小田 辰春	1941	電気	2015年12月	島村 素次	1945	工電	2015年3月10日
佐藤 誠一	1961	電気	2015年3月	原田 洸	1953	電気	2016年1月31日
柏木 勉	1941	専工電	2014年	石原 秀男	1984	電気	2015年9月19日

お名前	卒年	学科	ご逝去日	お名前	卒年	学科	ご逝去日
光安 秀雄	1962	電気	2013年3月22日	舘野 勝雄	1960	電専修	2014年11月17日
鷓飼 正尚	1941	工電	2000年4月24日	矢橋 幸一	1948	電通	2016年7月4日
山下 直樹	1948	電気	2013年8月9日	清水 勝美	1950	専工電	2016年1月10日
柄沢正三郎	1950	工通	2015年12月16日	黒田 次郎	1956	電気	2014年9月19日
米田 洋	1996	電気	2014年10月12日	大滝 尚	1951	電気	不明
廣邊 裕二	1956	電気	2015年12月20日	中村 誠司	1946	電気	2016年5月30日
岩沢 達夫	1947	工通	2016年3月7日	三本松久助	1955	電気	2015年5月21日
石原 昭男	1961	電気	2015年11月	塩谷 胖	1943	専工電	2013年
松尾 功	1951	電通	2016年2月4日	大谷 正	1947	電気	不明
吉福 達郎	1970	電気	2014年8月20日	野崎 弘之	1948	専工電	2015年8月
城戸 勝正	1960	電専修	不明	中島 晃一	1954	電気	2015年6月26日
横山 吉明	1945	専工電	2011年2月23日	森沢 誠一	1935	電気	2003年4月
片岡 嗣雄	1962	電通	2016年12月17日	関島 利次	1953	電気	2015年10月5日
林 尚武	1923	工電	不明	千村 琢夫	1962	電通	2015年8月29日
水谷 光男	1949	専工電	2015年	長峯 禎三	1967	電気	2012年11月
永松 覚	1955	電気	2016年1月19日	林 一男	1945	専工電	2016年6月1日
安藤 昌亮	1958	電気	2015年12月8日	岩永 さとし	1948	電通	不明
五十嵐 保	1972	電通	不明	石井 清	1948	電通	2011年
樋爪 保	1972	電通	不明	河崎 明	1971	電通	2016年
竹平 義郎	1950	専工電	2016年3月22日	妹川 健	1958	電気	2016年8月25日
瀬古 茂男	1959	電気	2015年6月13日	赤松 元	1962	電専修	2016年
森川 正由	1959	電気	2016年6月6日	高橋 澄夫	1948	電通	2016年6月17日
吉田 正吉	1942	電気	2016年6月16日	根岸 哲	1962	電通	2016年12月1日
小原 稔	1961	電通	2016年5月	田辺 道弘	1962	電通	2017年3月

【お詫び】 会報57号計報欄に、山本眞巳様（1956電気）のお名前を掲載いたしました。ご存命でした。訂正してお詫び申し上げます。

表紙デザイン

2016年春にリニューアルされた西早稲田キャンパスの風景です。

通路も整備され、芝生にベンチなど、開放的な雰囲気になりました。

編集後記

大学を卒業後、はや25年を過ぎました。早稲田を離れてからも、同窓の方々との縁は続いております。就職先では、早稲田の諸先輩方々が活躍されているばかりか、後輩が続々と入社しており、早稲田の層の厚さを実感しております。その中で、EWE理事のお声掛けをいただき、謹んで拝命いたしました。年4回ほどの理事会は、西早稲田キャンパス（新しいビルが立ち並び、駅と直結するなど、在学時にも増して素晴らしい環境です）で開かれています。理事会に参加する中で、在學生と卒業生の関係を深めるためのさまざまな活動と、裏方としての事務局の方々の労力に触れることができました。理事会の活動を通じて、少しでも、これまでのご恩に報いることができればと思っております。

この会報は、大学と企業の橋渡しとなる交流会などの活動をトピックス的に情報発信するために発行されています。最近の理事会では、EWE活動の活性化（継続的な会員登録の促進、新しい取り組みなど）が重要な課題として取り上げられています。EWEをますます盛り上げていくためにも、会員の皆様には、疎遠になっている会員の方々への情報発信について積極的なご協力をいただけますと幸いです。何卒宜しく願い申し上げます。

（編集担当理事：山口 明）